

PC-900 モニタソフト

SWM-PC001

取扱説明書

目 次

本書について.....	2
モニタソフト使用上の注意	2
CD-ROM について	2
1. モニタソフトご使用の準備	3
1.1 動作環境.....	3
1.2 インストール手順	7
1.3 アンインストール手順	13
2. モニタソフトの起動と終了	16
2.1 パソコン – PC-900 間の配線	16
2.2 モニタソフトの起動.....	17
2.3 モニタソフトの画面および操作.....	19
2.3.1 画面の切り替え.....	19
(1) 多チャンネル画面(32 チャンネル画面).....	19
(2) 多チャンネル画面(8 チャンネル画面).....	20
(3) 1 チャンネル画面.....	21
(4) チャート画面	22
(5) チャート描写条件設定画面	23
2.3.2 メニューバーの操作.....	24
(1) プリンタ選択	24
(2) 印刷.....	24
(3) モニタソフトの終了.....	24
(4) 機器名称登録	25
(5) 設定操作	26
(6) 設定画面メニューバーの操作	30
(7) データロギング.....	37
(8) アラームヒストリ画面	39
(9) パスワード登録.....	40
(10) 通信条件設定	41
(11) ヘルプ画面	42
(12) バージョン情報画面.....	43

Shinko

本書について

- ・ 本書は、PC-900モニタソフト "SWM-PC001" (以下、モニタソフト)のインストール方法について説明したものです。
- ・ 本書の説明は、Windows Meで行っていますが、他のOS(Windows95/98/NT4.0/2000/XP)も同様の操作で行えます。
- ・ 本書では "XXページを参照してください" を(➡P.XX)と表現しております。

モニタソフト使用上の注意

ソフトウェア使用許諾契約書

1. 使用許諾

- (1)お客様は、本契約に同意していただいた場合のみモニタソフトを使用することができます。
- (2)お客様は、モニタソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。

2. 著作権

モニタソフトに関する著作権は、神港テクノス株式会社(以下、弊社と表記します)が保有しています。

3. 譲渡の規制

お客様は、モニタソフトを譲渡、貸与またはリースすることはできません。

4. 複製

お客様は、モニタソフトのコピーを配布することはできません。

5. 免責

- (1)弊社は、モニタソフトを使用した結果に関してもいかなる保証も行いません。
モニタソフトに関して発生する問題は、お客様の責任および費用負担によって処理されるものとします。
- (2)弊社はいかなる場合であっても、お客様がモニタソフトを使用することにより生じ商業的利益の逸失、商業の支障その他いかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

CD-ROM について

- ・ CD-ROMの場合、以下のファイルが収められています。

Install_J.txt

モニタソフトのインストール方法について重要な情報が記載されているファイルです。

Readme_J.txt

モニタソフトの使用許諾や著作権などについて重要な情報が記載されているファイルです。

SWM-PC001_Vxxx.msi (Win2000フォルダ内)

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows Me/2000/XP の場合使用してください。

setup.exe (Win95フォルダ内)

モニタソフトのインストール実行ファイルです。

Windows 95/98/NT4.0 の場合または上記ファイルでインストールできない場合使用してください。

・ Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

1. モニタソフトご使用の準備

1.1 動作環境

モニタソフトは、下記の環境で動作します。

●パソコン

Windowsで動作するパソコン

- ・ RS-232Cインタフェース装備(COM1～COM8)
- ・ ハードディスク空き容量 インストール時、50Mバイト以上
- ・ CD-ROMドライブ装備

●OS

Windows XP Home Edition (日本語版)
Windows XP Professional (日本語版)
Windows 2000 Professional (日本語版)
Windows Me (日本語版)
Windows NT4.0 (日本語版)
Windows 98 (日本語版)
Windows 95 (日本語版)

●ディスプレイ

解像度 800×600ドット以上

フォントは "小さいフォント" を選択してください。

フォントの設定方法を以下に示します(➡P.3～6)。

・フォントの設定方法

"大きいフォント" から "小さいフォント" に変更する設定方法を、下記の手順で行います。

(1) 起動しているアプリケーションを全て終了してください。

スタートメニューから、[設定(S)] - [コントロールパネル(C)]を選択しクリックしてください。

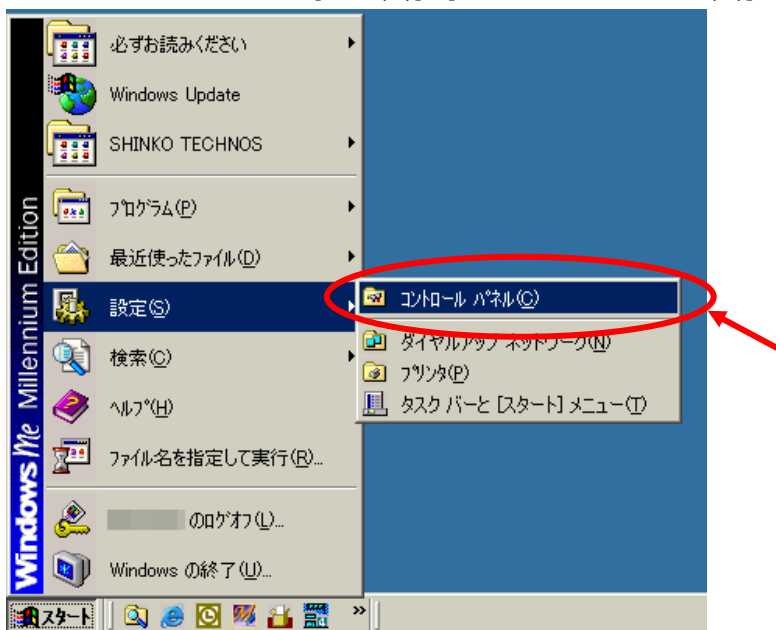


図1.1-1

(2) [画面]アイコンをダブルクリックしてください。

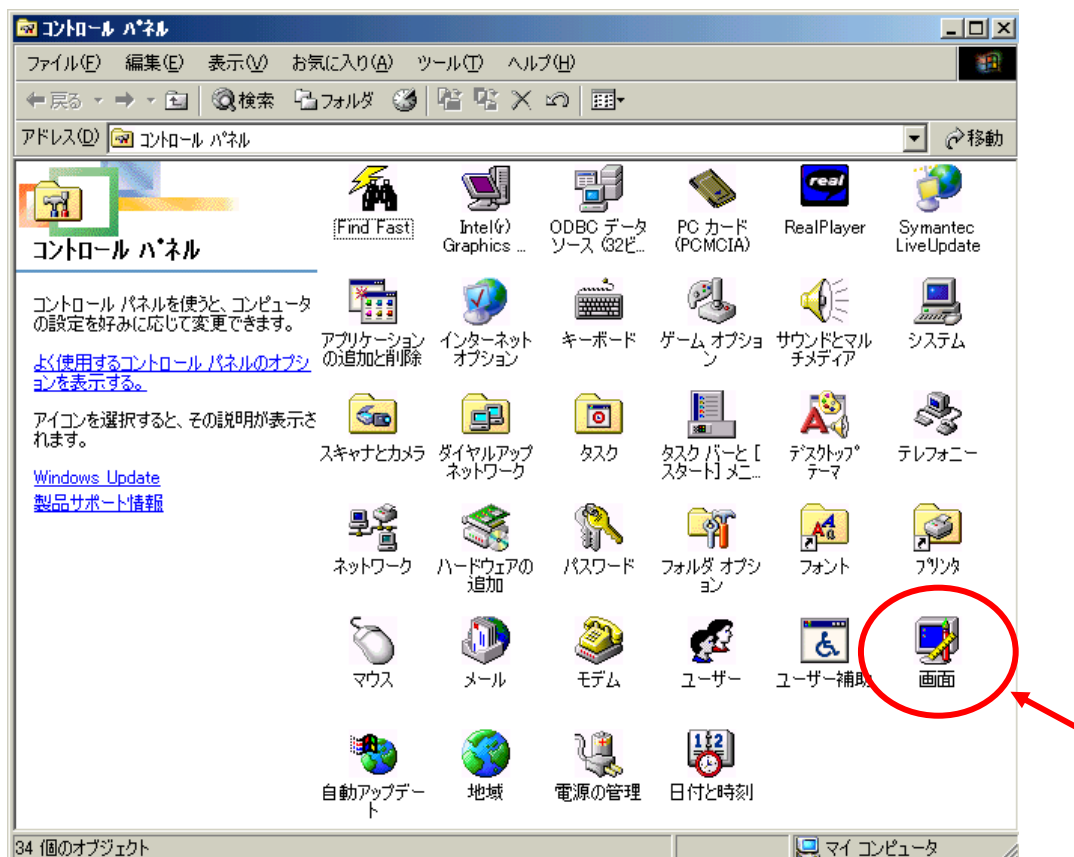


図1.1-2

(3) [設定]タブをクリックしてください。

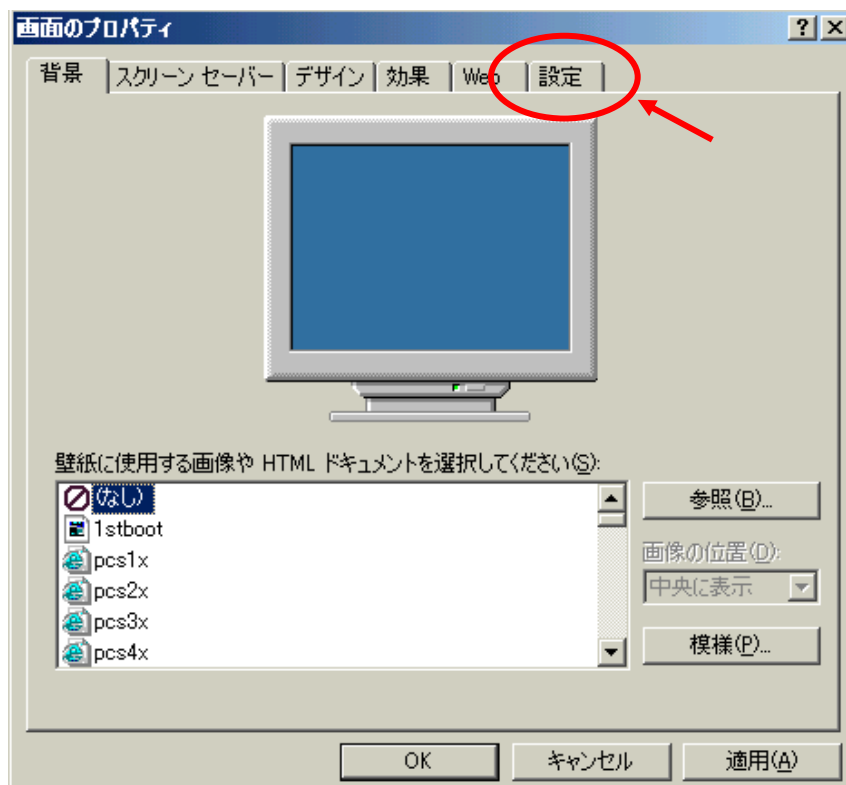


図1.1-3

(4) [詳細(D)]ボタンをクリックしてください。

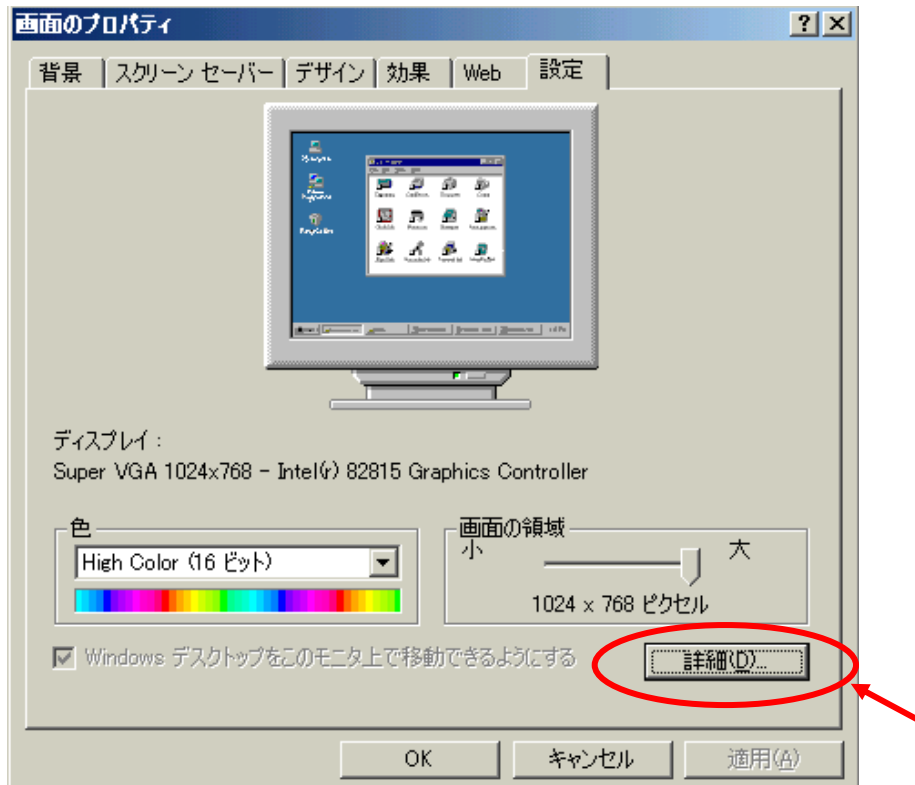


図1.1-4

(5) ディスプレイのフォントサイズ(E)を "小さいフォント" にし、[OK]ボタンをクリックしてください。

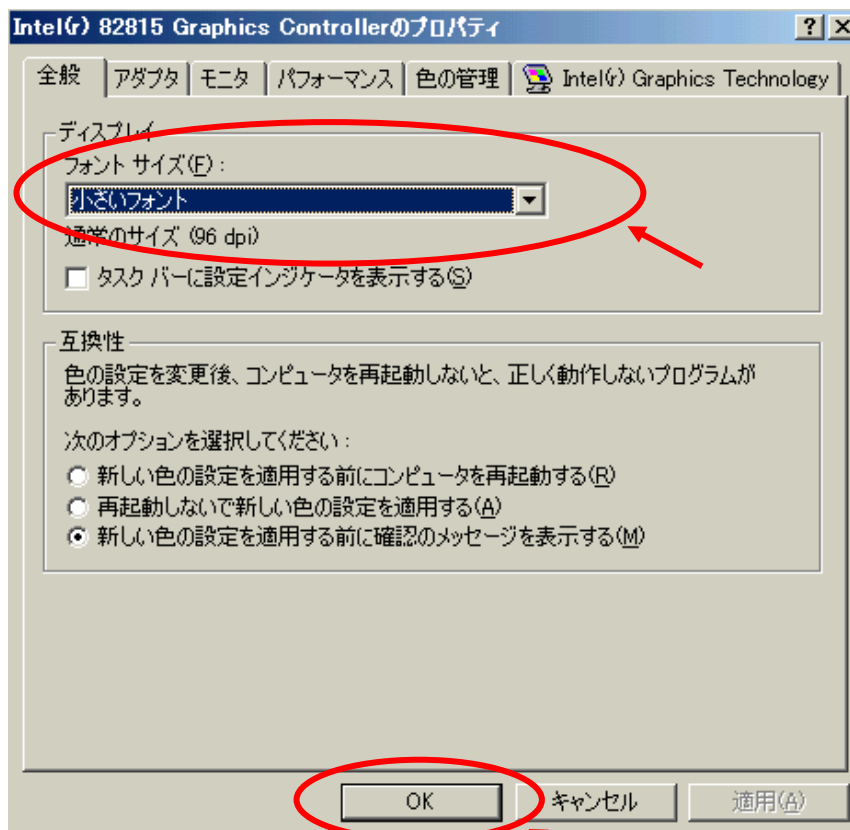


図1.1-5

(6) [閉じる]ボタンをクリックしてください。

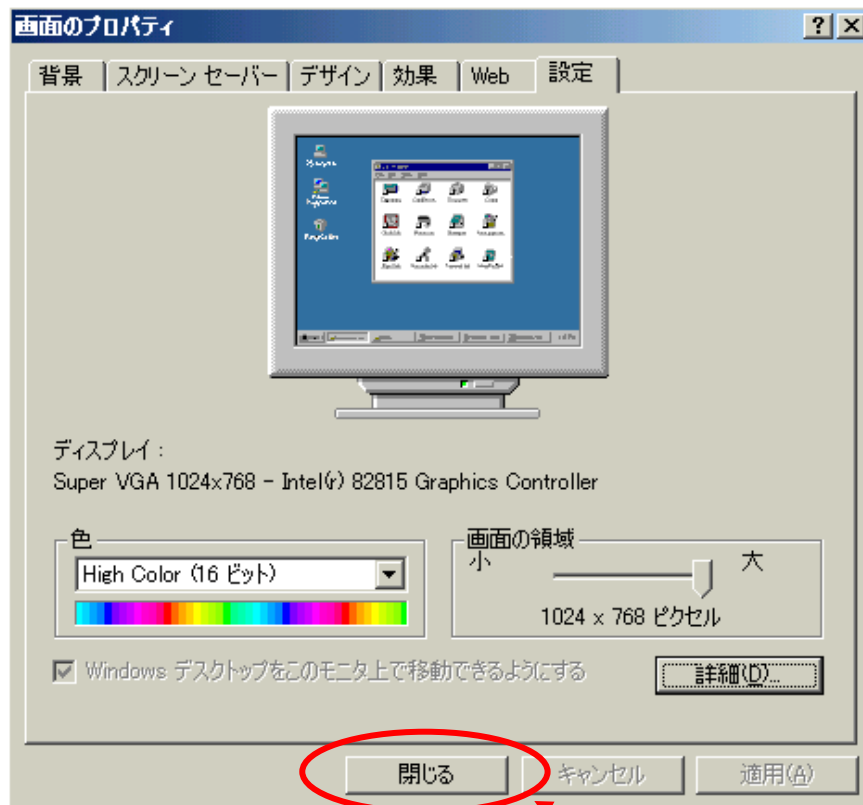


図1.1-6

(7) [はい(Y)]ボタンをクリックしてください。

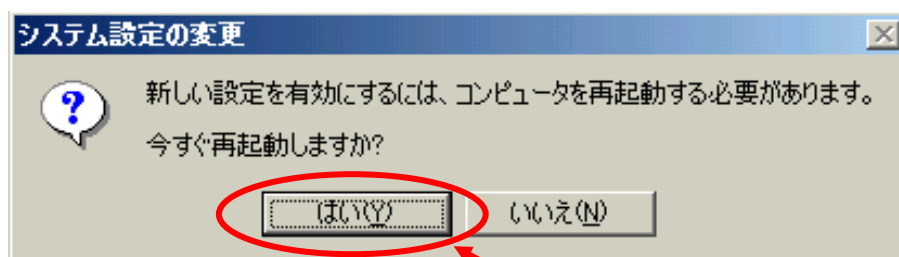


図1.1-7

(8) システムの再起動後、フォントが "小さいフォント" に設定されます。

1.2 インストール手順

インストールを始める前に、他に起動しているアプリケーションを全て終了してください。
フォントを“小さいフォント”に設定してください。(➡P.3～6)

本書は、Dドライブにダウンロード、解凍したことを前提に、セットアップの方法を説明します。
パソコンのドライブ構成は下記の通りです。

お使いの環境に合わせてドライブを指定してください。

- Aドライブ: フロッピーディスク
- Cドライブ: ハードディスク
- Dドライブ: ハードディスク
- Eドライブ: CD-ROM

ダウンロードしたフォルダ内には、2種類のインストールファイルが収められています。

- ・ SWM-PC001_Vxxx.msi (Win2000フォルダ内)
モニタソフトのインストール実行ファイルです。
インストール手順(➡P.7～10)
- ・ setup.exe (Win95フォルダ内)
モニタソフトのインストール実行ファイルです。
Windows 95/98/NT4.0の場合または上記インストールファイルでインストールできない場合、
使用してください。インストール手順(➡P.11～12)

Windows Me/2000/XPの場合

(1) スタートメニューから、[ファイル名を指定して実行(R)]を選択しクリックしてください。
(図1.2-1)

(2) [参照(B)]ボタンをクリックしてください。(図1.2-2)



図1.2-1

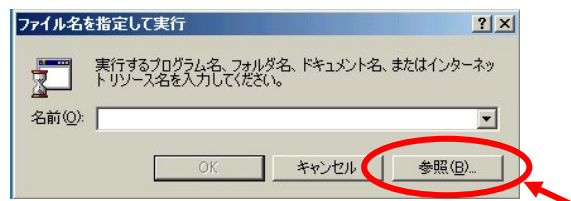


図1.2-2

- (3) ファイルの場所(L)ダイアログボックスから "ローカルディスク (D:)" を選択してください。

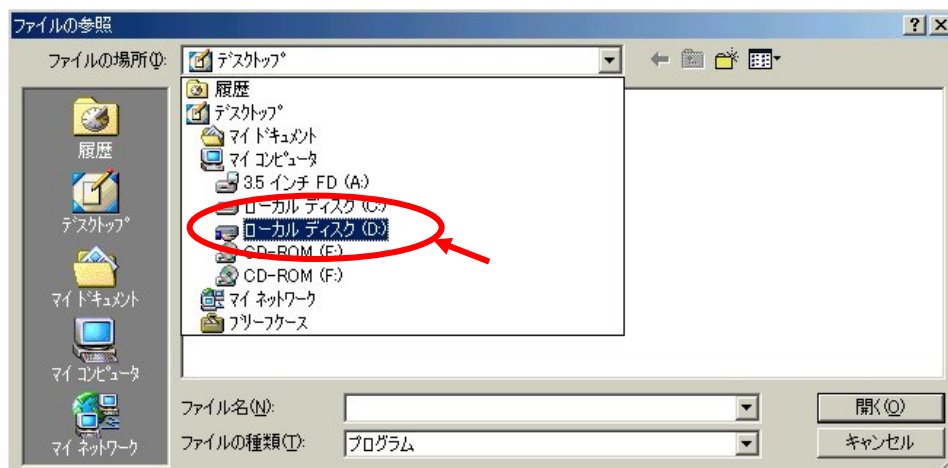


図1.2-3

- (4) "SWM-PC001_Vxxx" - "Win2000" フォルダを選択してください。

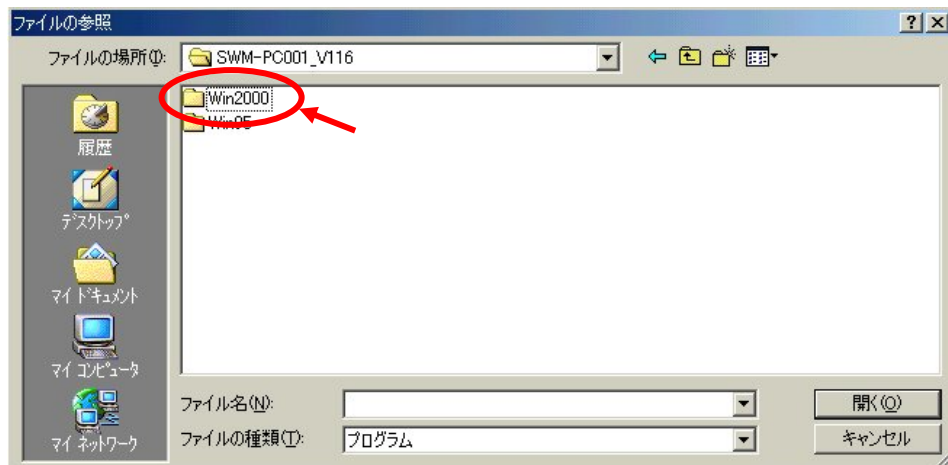


図1.2-4

- (5) ファイルの種類(I)を "すべてのファイル" に設定してください。
インストールファイル "SWM-PC001_Vxxx.msi" を選択し, [開く (O)] ボタンをクリックしてください。

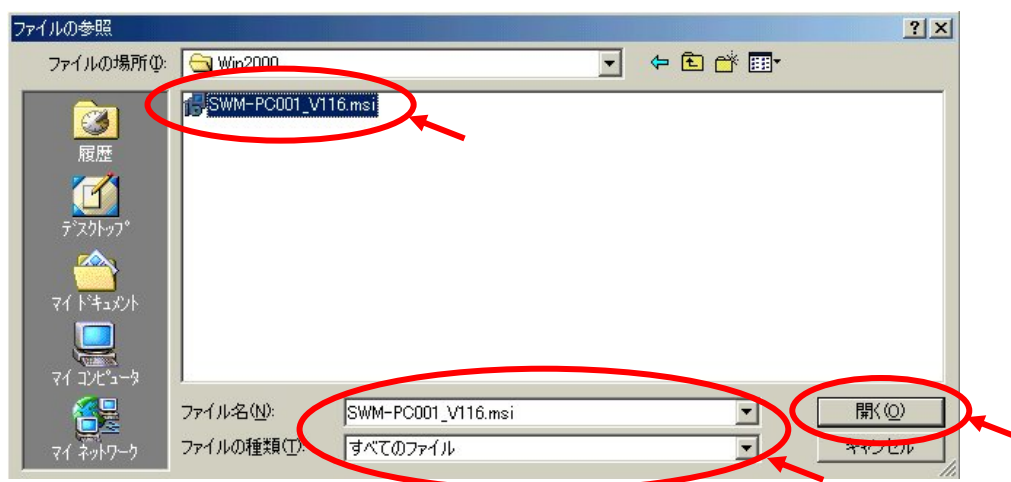


図1.2-5

- (6) [OK]ボタンをクリックしてください。(図1.2-6)
SWM-PC001_Vxxxセットアップウィザードが表示されます。

- (7) [次へ(N)]ボタンをクリックしてください。(図1.2-7)
インストールを中止、終了したい場合、[キャンセル(C)]ボタンをクリックしてください。

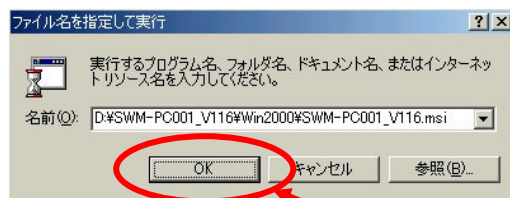


図1.2-6

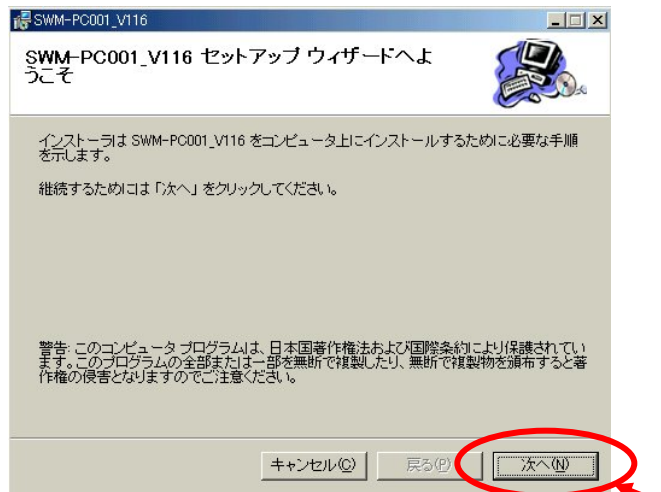


図1.2-7

- (8) インストール先のドライブ名とフォルダ(ディレクトリ)名を確認してください。(図1.2-8)
最初は, "C:\Program Files\SWM-PC001_Vxxx¥" にインストールするよう指定されています。
上記インストール先でよければ, [次へ(N)]ボタンをクリックしてください。
インストール先を変更したい場合, [参照(B)]ボタンをクリックしてください。
インストールを中止、終了したい場合, [キャンセル(C)]ボタンをクリックしてください。
前画面に戻りたい場合, [戻る(P)]ボタンをクリックしてください。

インストール先の変更画面 (図1.2-9)

ドライブ名とフォルダ(ディレクトリ)名を指定し, [OK]ボタンをクリックしてください。
何の操作もせず, 前画面に戻りたい場合, [キャンセル(C)]ボタンをクリックしてください。

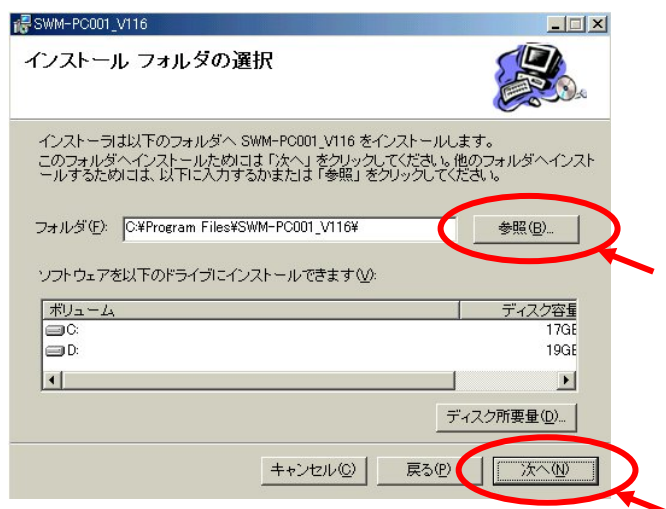


図1.2-8

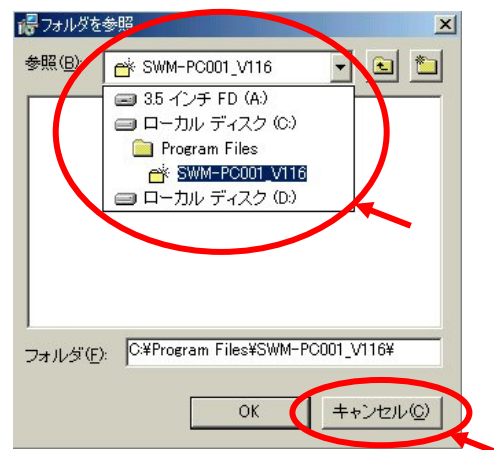


図1.2-9

- (9) インストールの確認画面が表示されます。
[次へ(N)]ボタンをクリックしてください。
インストールを中止する場合, [キャンセル(C)]ボタンをクリックしてください。
前画面に戻りたい場合, [戻る(P)]ボタンをクリックしてください。

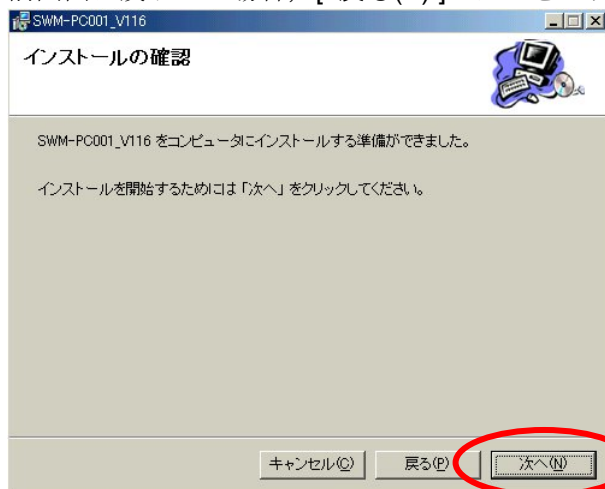


図1.2-10

- (10) ファイルをコピーする状況がバーグラフで表示されます。
インストールを中止する場合, [キャンセル(C)]ボタンをクリックしてください。

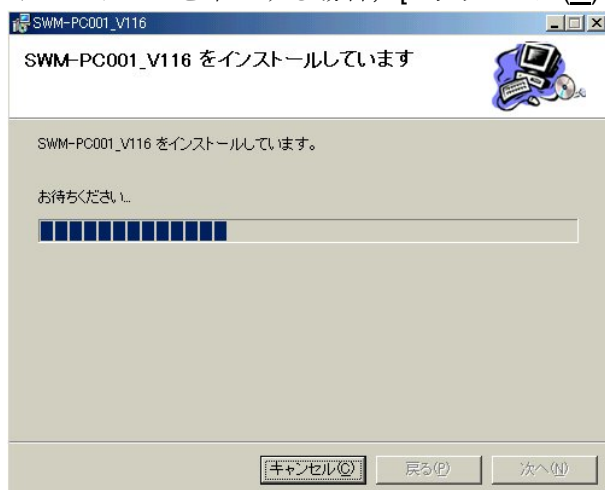


図1.2-11

- (11) インストールが完了すると, 以下の画面が表示されます。
[閉じる(C)]ボタンをクリックしてください。

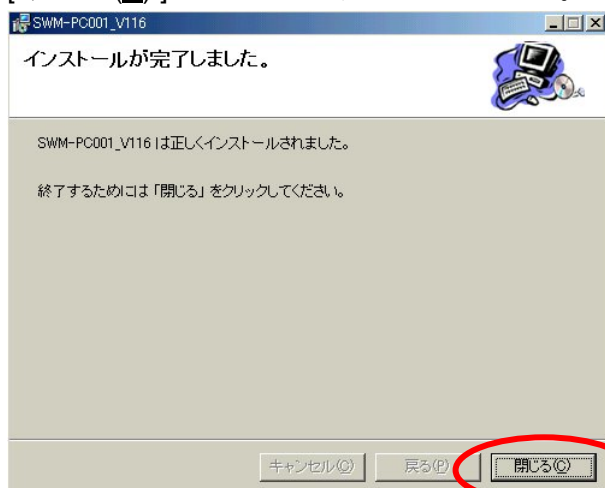


図1.2-12

Windows 95/98/NT4.0の場合

(1) スタートメニューから、[ファイル名を指定して実行(R)]を選択しクリックしてください。
(図1.2-13)

(2) [参照(B)]ボタンをクリックしてください。(図1.2-14)

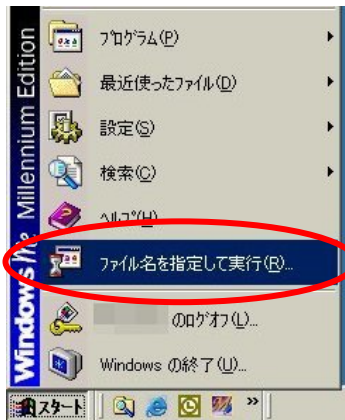


図1.2-13

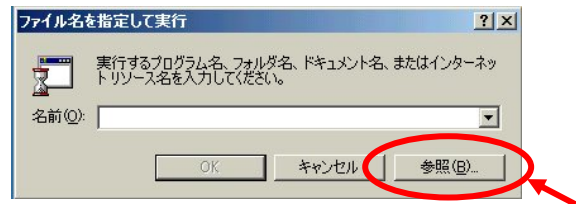


図1.2-14

(3) ファイルの場所(L)ダイアログボックスから "ローカルディスク (D:)" を選択してください。

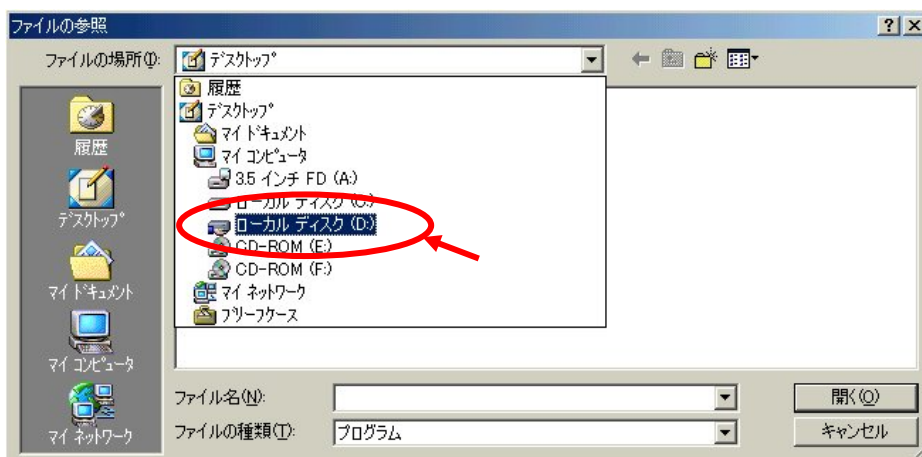


図1.2-15

(4) "SWM-PC001_Vxxx" - "Win95" フォルダを選択してください。

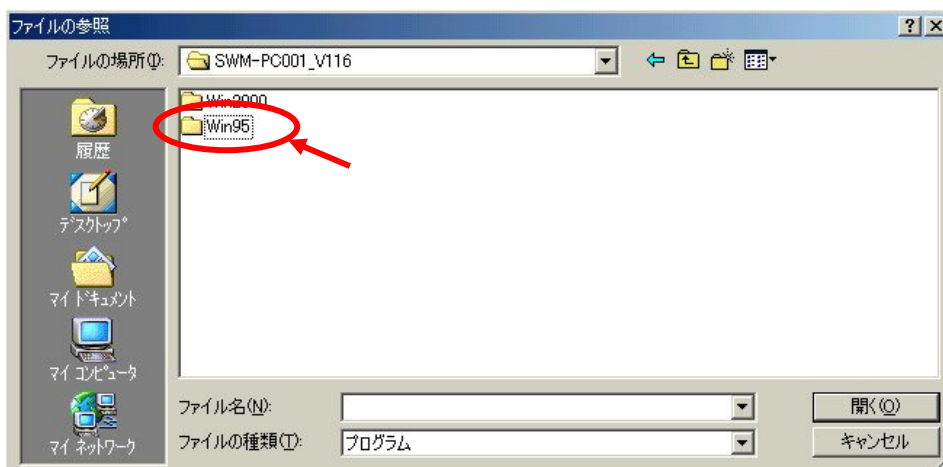


図1.2-16

- (5) セットアップファイル "setup.exe" を選択し, [開く (O)] ボタンをクリックしてください。

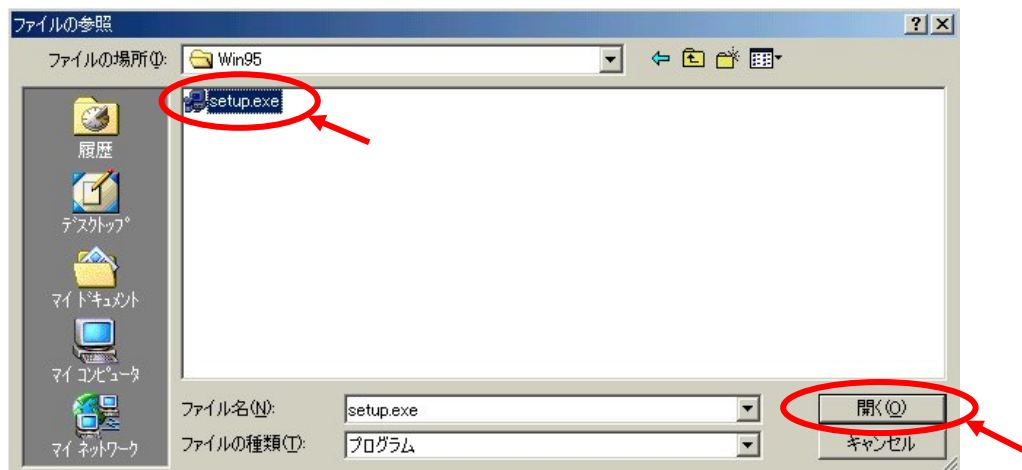


図1.2-17

- (6) [OK] ボタンをクリックしてください。
SWM-PC001 セットアップウィザードが表示されます。

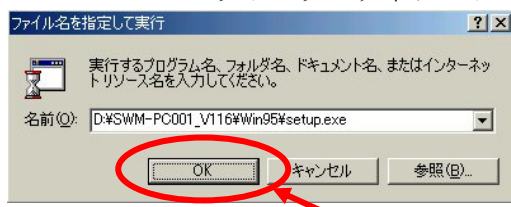


図1.2-18

- (7) 以降のインストール方法は, Windows Me/2000/XP の場合と同じです。
Windows Me/2000/XP の場合の (7) からを参照してインストールしてください。 (➡P.9~10)

1.3 アンインストール手順

ハードディスクから、モニタソフトの関連ファイルを削除する手順について説明します。

- (1) スタートメニューから、[設定(S)] - [コントロールパネル(C)]を選択しクリックしてください。

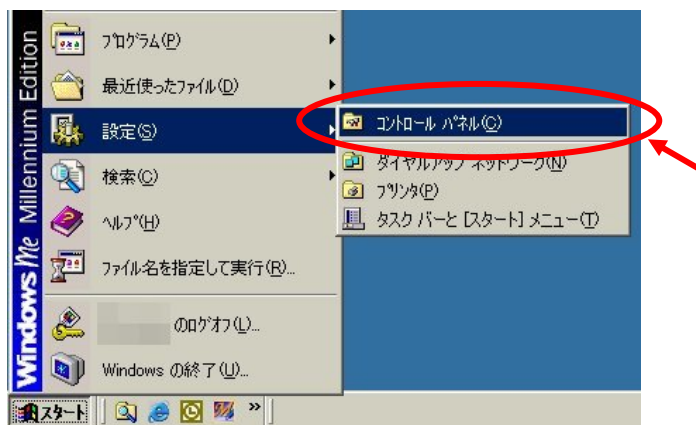


図1.3-1

- (2) [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックしてください。

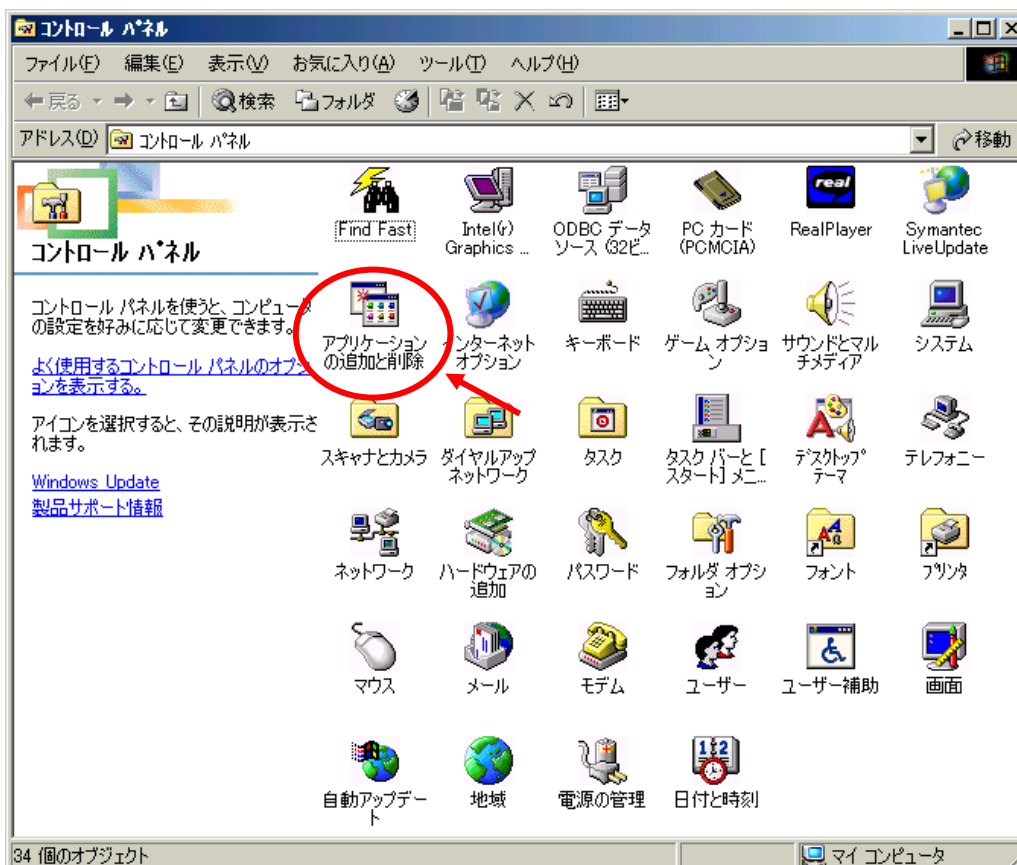


図1.3-2

- (3) アプリケーションのリストで "SWM-PC001_Vxxx" をクリックまたはカーソルで選択して[追加と削除(R)]ボタンをクリックしてください。

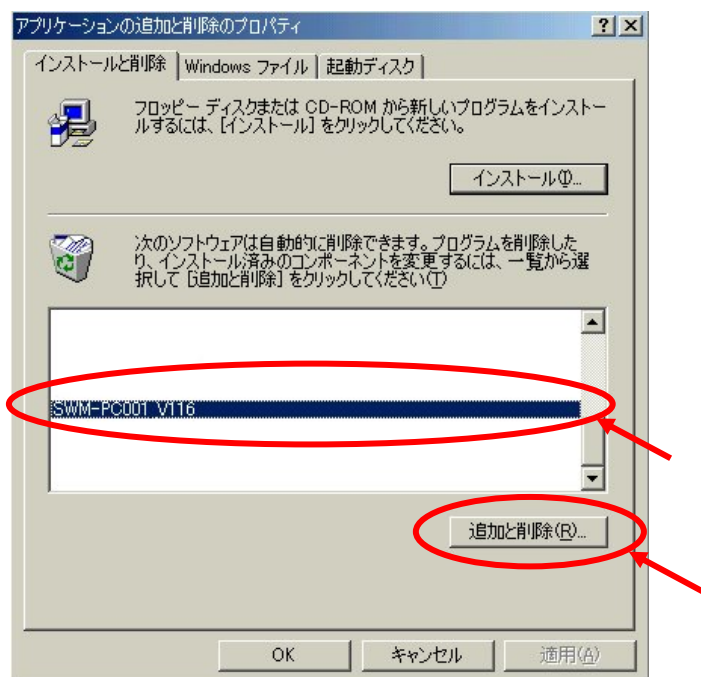


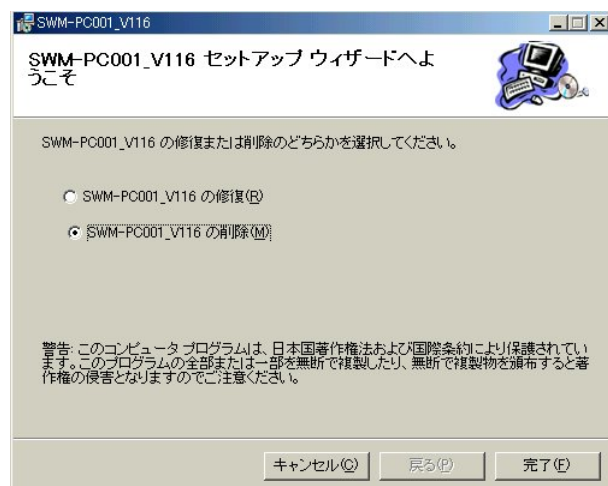
図1.3-3

- (4) 削除の確認ダイアログが表示されます。

Windows Me/2000/XPの場合, [SWM-PC001_Vxxxの削除(M)]を選択し, [完了(E)]ボタンをクリックしてください。

Windows95/98/NT4.0の場合, [はい(Y)]ボタンをクリックしてください。

Windows Me/2000/XPの場合



Windows95/98/NT4.0の場合

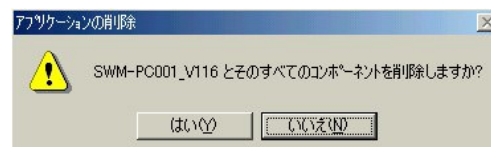
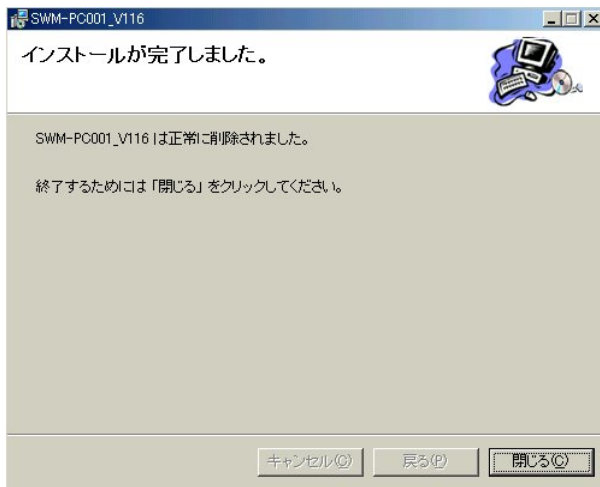


図1.3-4-2

図1.3-4-1

- (5) アンインストールが正常に終了した場合、以下の画面が表示されます。
Windows Me/2000/XPの場合、[閉じる(C)]ボタンをクリックしてください。
Windows95/98/NT4.0の場合、[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。

Windows Me/2000/XPの場合



Windows95/98/NT4.0の場合



図1.3-5-2

図1.3-5-1

・アンインストール中のエラーメッセージについて

アンインストール中、以下の画面が表示されることがあります。
これは、削除するファイルの中に共有ファイルがあるため表示されるメッセージです。
[保存(K)]ボタンをクリックしてください。

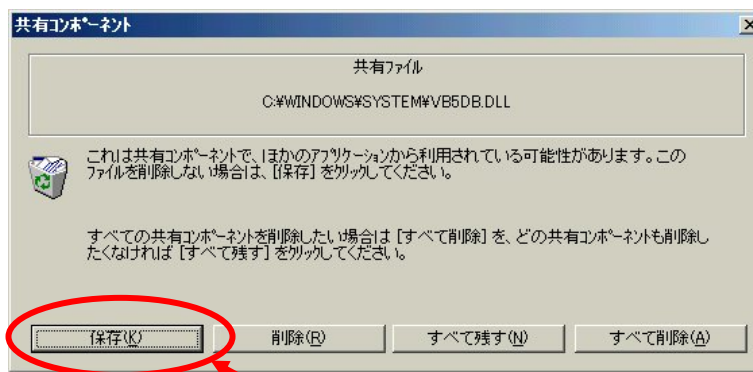


図1.3-6

アンインストールが終了した場合、以下の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。

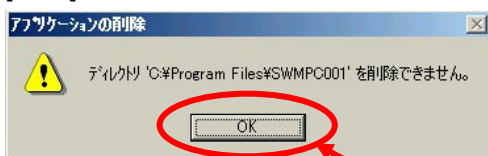


図1.3-7-1

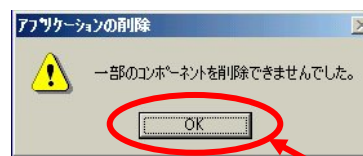


図1.3-7-2

アプリケーションを完全に削除したい場合、エクスプローラを起動またはファイルやフォルダの検索で "SWM-PC001_Vxxx" フォルダを探し、フォルダごと削除してください。

2. モニタソフトの起動と終了

2.1 パソコン – PC-900 間の配線

⚠ 注 意

モニタソフトを起動する前に、PC-900取扱説明書の"操作"の項を参照して、下記設定を確認してください。

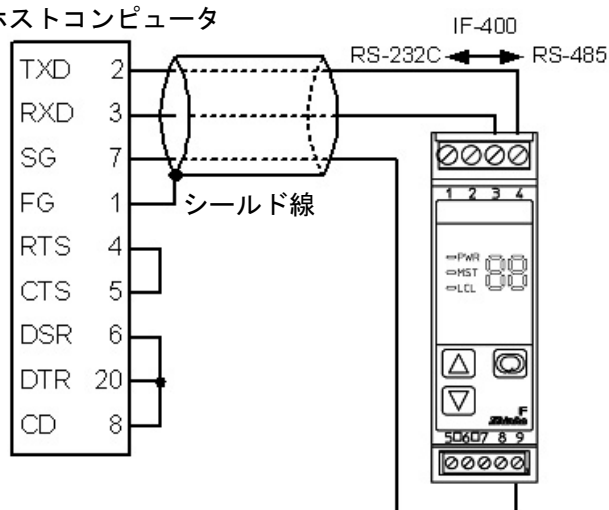
- ・機器番号は、必ず "0" 番から連続して個別に設定してください。
"0" 番の計器が無いとモニタソフトは起動しません。
例: PC-900を3台接続する場合、機器番号は0, 1, 2と設定します。
- ・通信速度は、パソコン、通信変換器に合わせて設定してください(19200bpsを推奨)。

●配線例

IF-400を通信変換器として使用した場合、PC-900を最大32台接続できます。

Dサブ25ピンコネクタの場合

ホストコンピュータ



Dサブ9ピンコネクタの場合

ホストコンピュータ

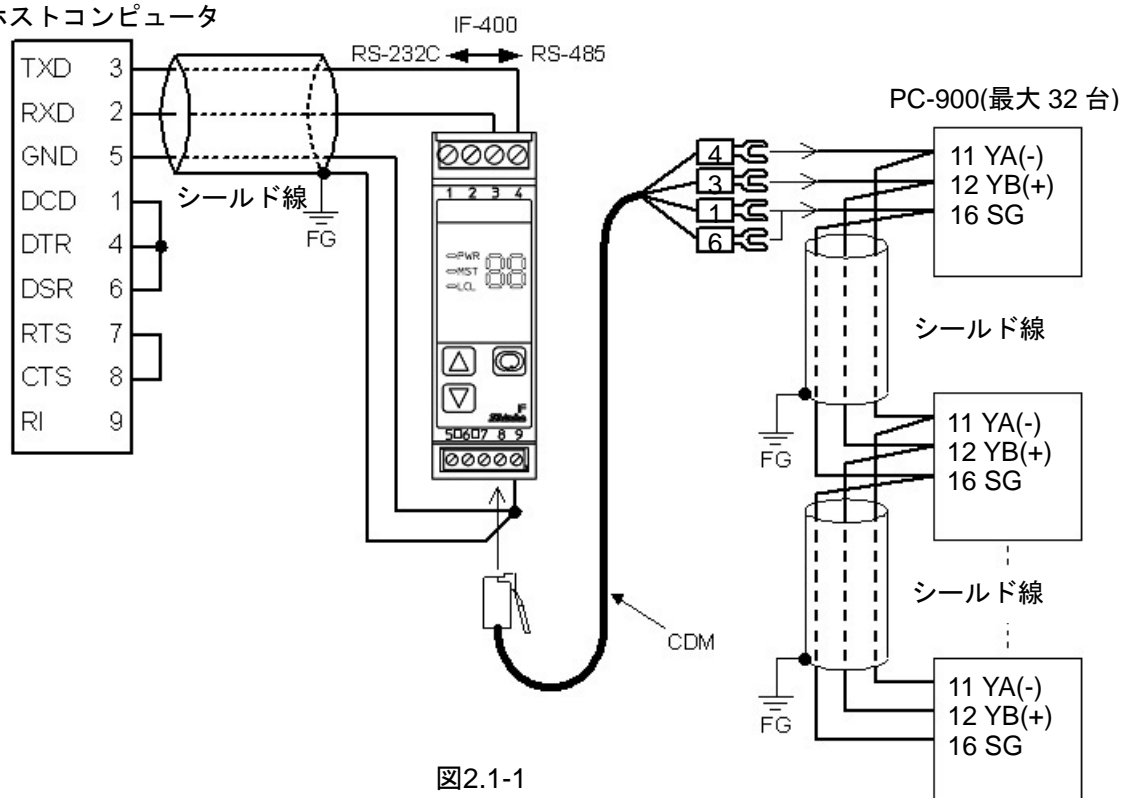


図2.1-1

2.2 モニタソフトの起動

- (1) パソコンの通信ポートに通信ケーブルが接続されていることを確認してください。
Windows Me/2000/XPの場合、スタートメニューから[SHINKO TECHNOS] – [SWM-PC001_Vxxx]へのショートカット]を選択しクリックしてください。

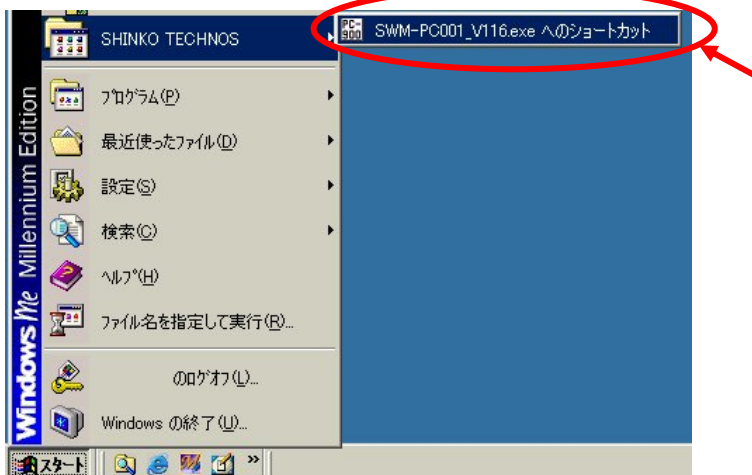


図2.2-1

Windows 95/98/NT4.0の場合、スタートメニューから[プログラム(P)] - [SHINKO TECHNOS] – [SWM-PC001_Vxxx]を選択しクリックしてください。



図2.2-2

- (2) [OK]ボタンをクリックしてください。



図2.2-3

- (3) 接続されているPC-900それぞれの入力レンジ，警報1, 2(A1, A2)動作方式，オプションの有無，形名(930, 950)を選択し[OK]ボタンをクリックしてください。
仕様設定を間違えると，頻繁に通信エラーが発生したり，設定範囲が異なったりする為注意してください。一度仕様設定すると，次回起動時から表示されません。
モニタソフト起動後に仕様設定を行いたい場合，「仕様設定」を参照してください。(→P.36)

PC-900 仕様設定	
接続されている機器それぞれの仕様を設定してください。	
機器番号0	
入力レンジ	K -200~1370°C
警報1 (A1)動作方式	上限警報
警報2 (A2)動作方式	無動作
ループ異常警報の有無	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> LA
冷却出力形態	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> DRorDS <input type="radio"/> DA
伝送出力の有無	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> TAorTV
タイムシグナルの有無	<input checked="" type="radio"/> 無し <input type="radio"/> TS
930/950指定	<input checked="" type="radio"/> 930 <input type="radio"/> 950
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

図2.2-4

- (4) PC-900 のデータを読み込み，モニタソフトが起動します。
設定値読取を「許可」した場合，通信速度によるPC-900 1台あたりのデータ読み込み時間は以下の通りです。
設定値読取を「禁止」した場合，通信速度に関係なく数秒でモニタソフトが起動します。
- | | |
|------|-----------------|
| 通信速度 | 19200bps: 約1分 |
| | 9600bps: 約1分30秒 |
| | 4800bps: 約2分30秒 |
| | 2400bps: 約4分 |

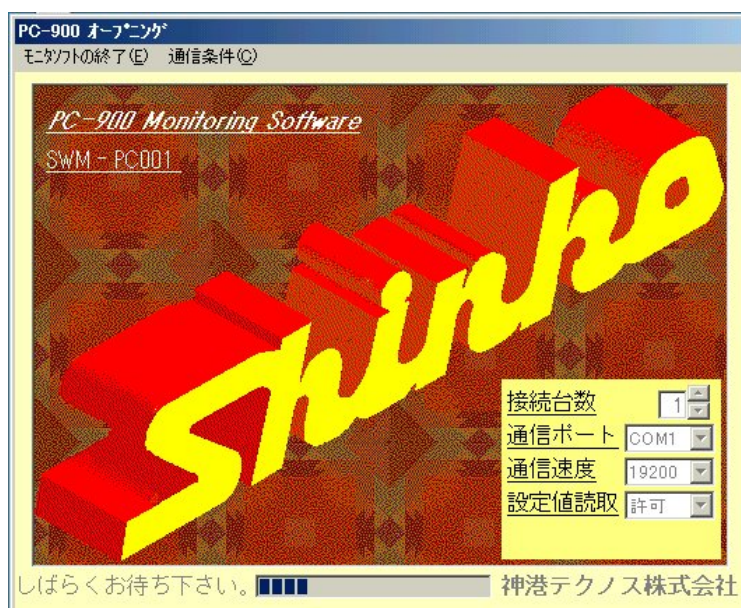


図2.2-5

2.3 モニタソフトの画面および操作

2.3.1 画面の切り替え

タブをクリックすると画面を切り替えることができます。

(1) 多チャンネル画面(32 チャンネル画面)

最大32台分をモニタする画面です。接続台数分だけを表示します。

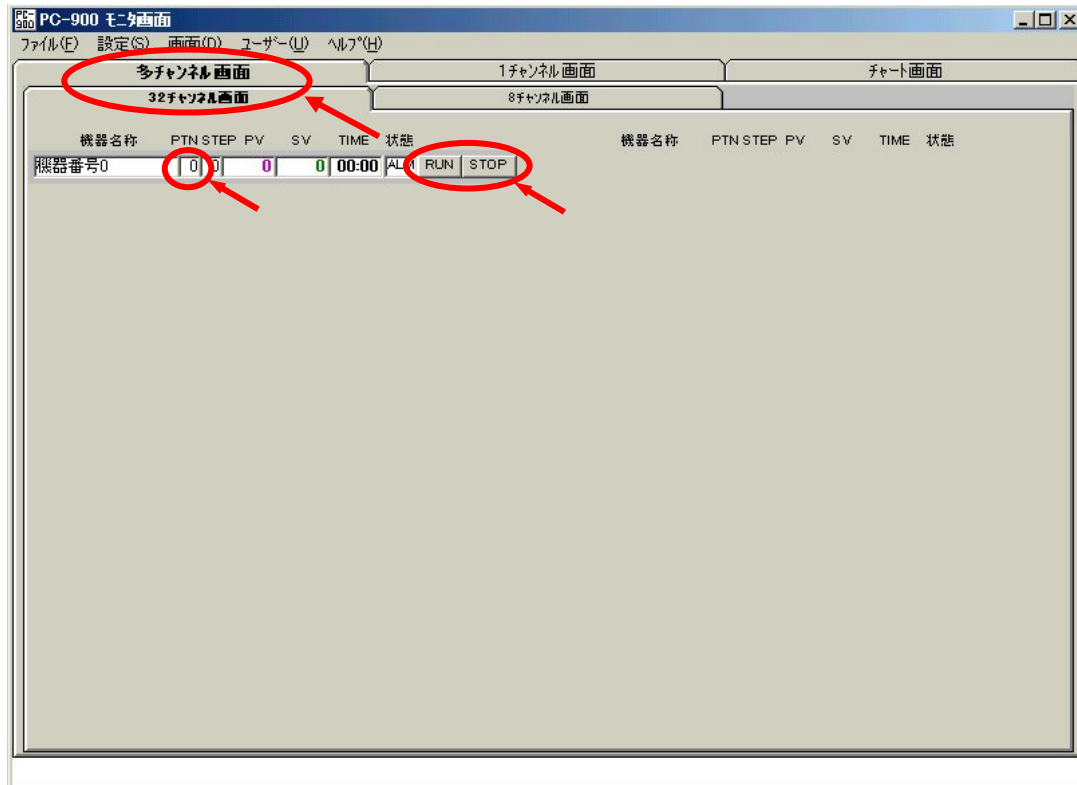


図2.3.1-1

操作説明

[PTN]表示枠: 待機モード時ダブルクリックすると、テンキーボードが表示されます。
実行するプログラムパターン番号を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

[RUN]ボタン: 待機モード時クリックすると、プログラム制御実行モードになります。

[STOP]ボタン: プログラム制御実行モード時クリックすると、待機モードに戻ります。

(2) 多チャンネル画面(8チャンネル画面)

8台分をモニタする画面です。接続台数分だけを表示します。

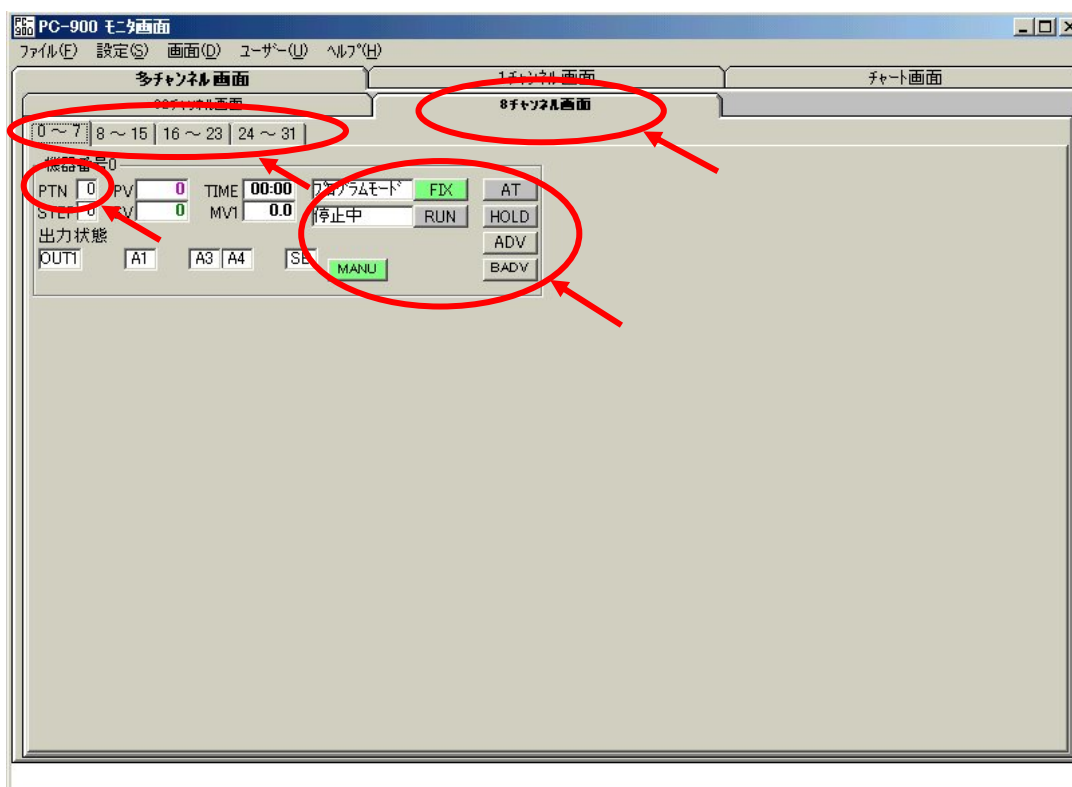


図 2.3.1-2

操作説明

[0～7], [8～15], [16～23], [24～31]タブ:

クリックすると、8台毎に表示の切り替えができます。

[PTN]表示枠:

待機モード時ダブルクリックすると、テンキーボードが表示されます。実行するプログラムパターン番号を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

[FIX/PROG]ボタン:

待機モード時またはプログラム制御実行モード時クリックすると、定値制御実行モードになります。

定値制御実行モード時クリックすると、待機モードに戻ります。

[RUN/STOP]ボタン:

待機モード時クリックすると、プログラム制御実行モードになります。

プログラム制御実行モード時クリックすると、待機モードに戻ります。

[AT]ボタン:

プログラム制御実行モード時または定値制御実行モード時クリックすると、AT(オートチューニング)実行／解除の切り替えができます。

[HOLD]ボタン:

プログラム制御実行モード時クリックすると、ホールド機能がはたらきステップ時間の進行を一時停止します。

一時停止中クリックすると、ホールド機能が解除されます。

[ADV]ボタン:

プログラム制御実行モード時クリックすると、実行中のステップを中断し、次のステップに進みます。

[BADV]ボタン:

プログラム制御実行モード時クリックすると、実行中のステップを中断し、前のステップに戻ります。

[MANU]ボタン:

プログラム制御実行モード時または定値制御実行モード時クリックすると、マニュアル(手動)制御モードになります。

マニュアル(手動)制御中は、出力操作量の変更ができます。

マニュアル(手動)制御モード時クリックすると、プログラム制御実行モードまたは定値制御実行モードに戻ります。

(3) 1 チャンネル画面

機器名称選択で選択した機器 1 台をモニタする画面です。

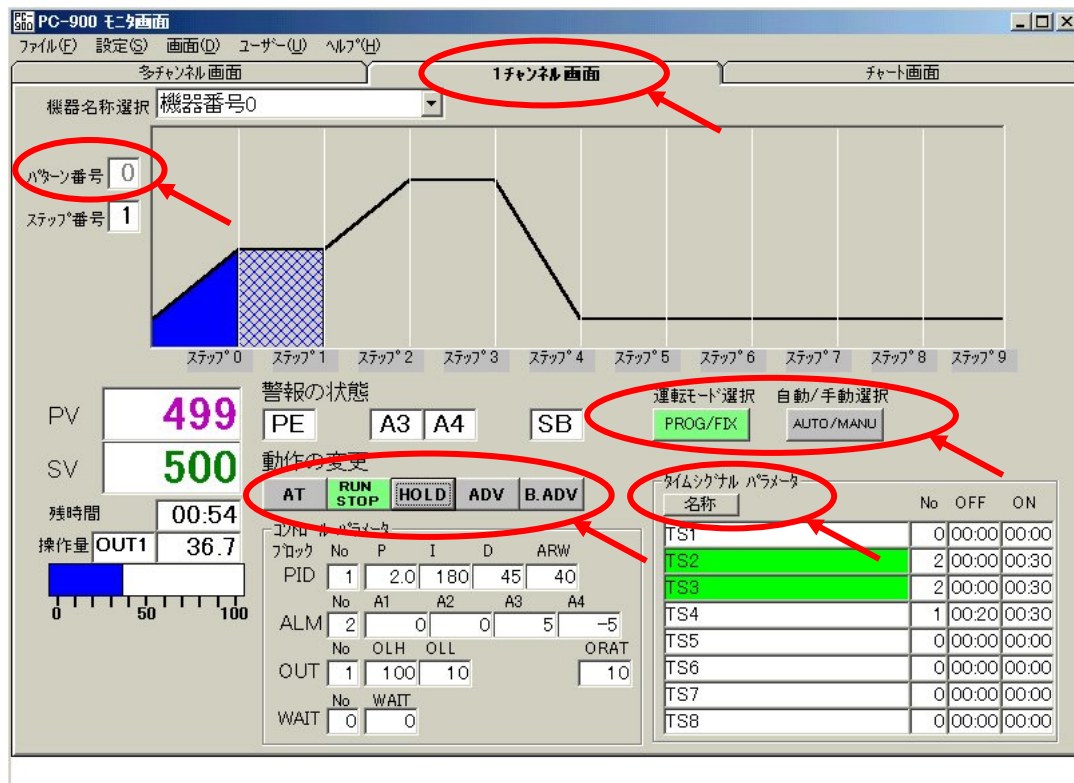


図2.3.1-3

操作説明

[パターン番号]表示枠: 待機モード時ダブルクリックすると、テンキーボードが表示されます。実行するプログラムパターン番号を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

[AT]ボタン: プログラム制御実行モード時または定値制御実行モード時クリックすると、AT(オートチューニング)実行／解除の切り替えができます。

[RUN/STOP]ボタン: 待機モード時クリックすると、プログラム制御実行モードになります。プログラム制御実行モード時クリックすると、待機モードに戻ります。

[HOLD]ボタン: プログラム制御実行モード時クリックすると、ホールド機能がはたらきステップ時間の進行を一時停止します。

一時停止中クリックすると、ホールド機能が解除されます。

[ADV]ボタン: プログラム制御実行モード時クリックすると、実行中のステップを中断し、次のステップに進みます。

[BADV]ボタン: プログラム制御実行モード時クリックすると、実行中のステップを中断し、前のステップに戻ります。

[PROG/FIX]ボタン: 待機モード時またはプログラム制御実行モード時クリックすると、定値制御実行モードになります。定値制御実行モード時クリックすると、待機モードに戻ります。

[AUTO/MANU]ボタン: プログラム制御実行モード時または定値制御実行モード時クリックすると、マニュアル(手動)制御モードになります。マニュアル(手動)制御中は、出力操作量の変更ができます。マニュアル(手動)制御モード時クリックすると、プログラム制御実行モードまたは定値制御実行モードに戻ります。

[名称]ボタン: このボタンをクリックして「パスワード登録(→P.42)」で登録したパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックすると、タイムシグナルの名称を任意に入力できます。

(4) チャート画面

接続台数分のチャートを表示する画面です。

チャート開始中モニタソフトを終了した場合、次回起動時自動的にチャートを開始します。

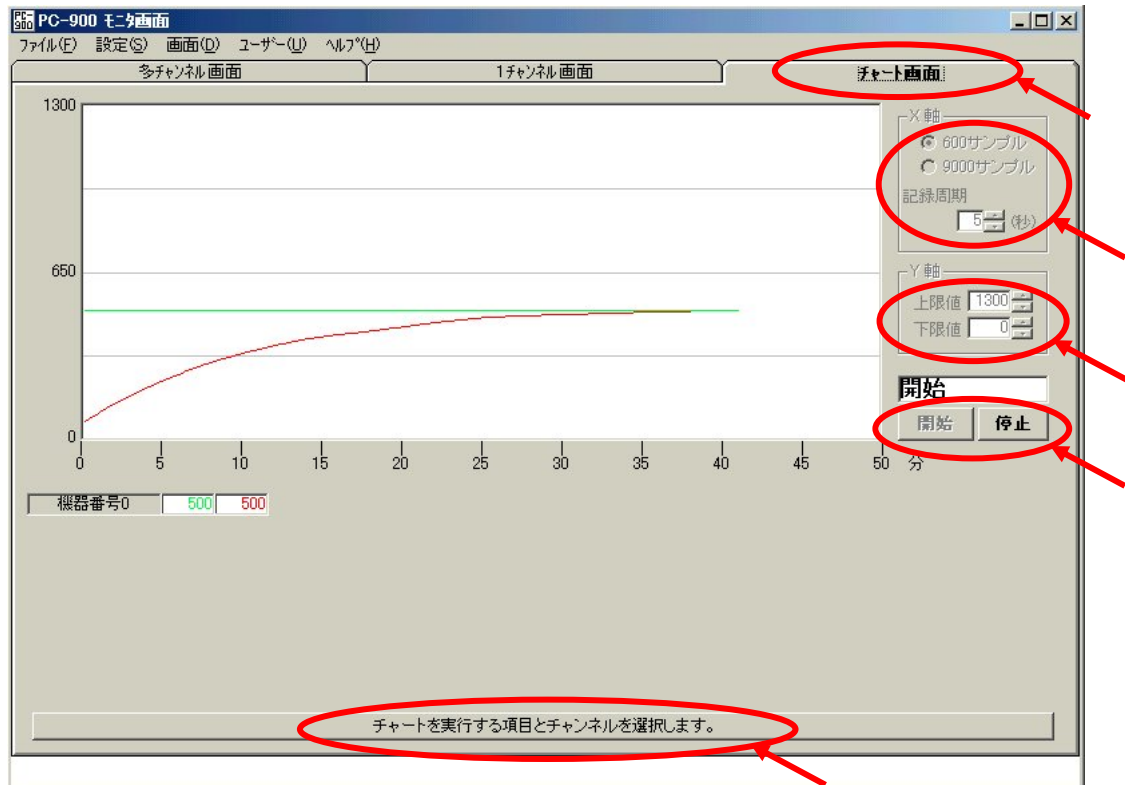


図2.3.1-4

操作説明

- [X軸]設定項目: サンプル数を選択, 記録周期(1~60秒)を設定してください。
例えばサンプル数600, 記録周期5秒とすると3000秒となり, X軸の表示は0~50分となります。
- [Y軸]設定項目: チャート表示の上限値と下限値を入力してください。
- [開始]ボタン: このボタンをクリックすると, チャート表示を開始します。
- [停止]ボタン: このボタンをクリックすると, チャート表示を停止します。
- [チャートを実行する項目とチャンネルを選択します。]ボタン: このボタンをクリックすると, チャート描写条件設定画面に移行します。

(5) チャート描写条件設定画面

チャートを表示する項目およびチャンネルを選択する画面です。

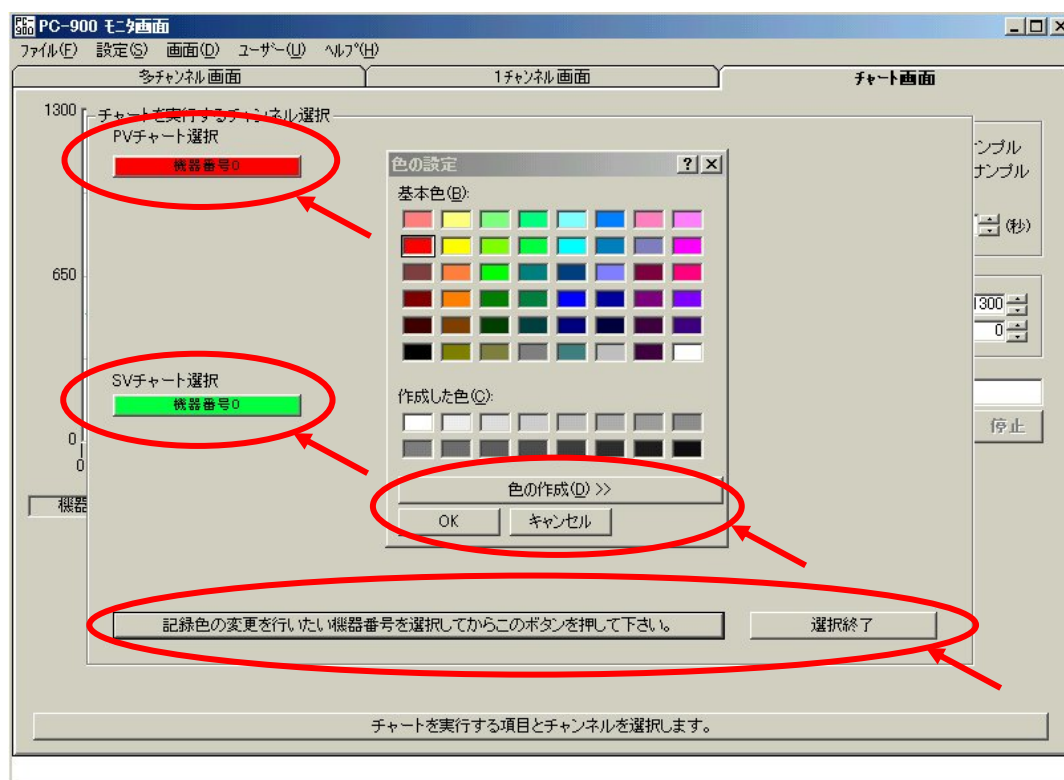


図2.3.1-5

操作説明

- [機器番号xx]ボタン: PV, SVそれぞれチャートを表示させたい機器番号を選択してください。
- [記録色の変更を行いたい機器番号を選択してからこのボタンを押して下さい。]ボタン: このボタンをクリックすると、色の設定画面が表示されます。
- [選択終了]ボタン: このボタンをクリックすると、チャート描写条件設定を終了し、チャート画面に戻ります。

色の設定画面

- [色の作成(D)]ボタン: このボタンをクリックすると、任意の色を作成し追加できます。
- [OK]ボタン: このボタンをクリックすると、色を設定し画面を閉じます。
- [キャンセル]ボタン: このボタンをクリックすると、色を設定せずに画面を閉じます。

2.3.2 メニューバーの操作

(1) プリンタ選択

印刷に使用するプリンタを選択します。

- ① メニューバーの[ファイル(F)] - [プリンタ選択(S)]を選択し、クリックしてください。

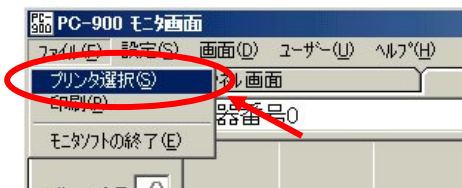


図 2.3.2-1

- ② プリンタ選択画面が表示されます。
プリンタを選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

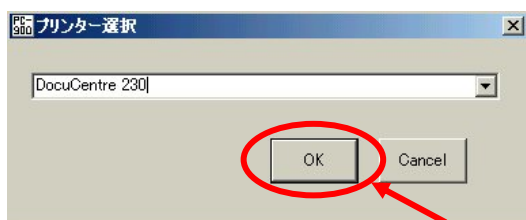


図 2.3.2-2

(2) 印刷

モニタソフト画面上の表示内容を印刷します。

- ① メニューバーの[ファイル(F)] - [印刷(P)]を選択し、クリックしてください。
モニタソフト画面上の表示内容が印刷されます。

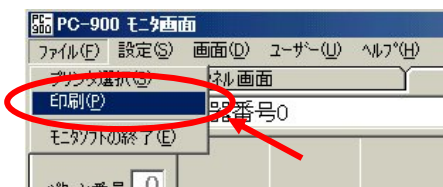


図 2.3.2-3

(3) モニタソフトの終了

モニタソフトを終了します。

- ① メニューバーの[ファイル(F)] - [モニタソフトの終了(E)]を選択し、クリックしてください。

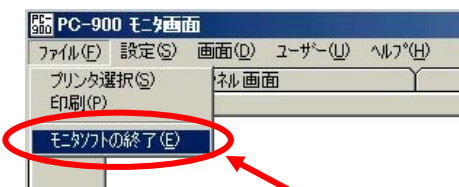


図 2.3.2-4

- ② モニタソフト終了確認画面が表示されます。
[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。

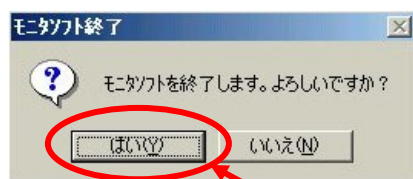


図 2.3.2-5

(4) 機器名称登録

モニタソフト画面上に表示される機器の名称を登録します。
登録した機器名は、モニタソフト画面上や選択リストに表示されます。

- ① メニューバーの[設定(S)] - [機器名称登録(N)]を選択し、クリックしてください。

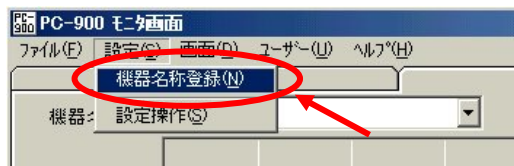


図 2.3.2-6

- ② パスワード入力画面が表示されます。
「パスワード登録(→P.42)」で登録したパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

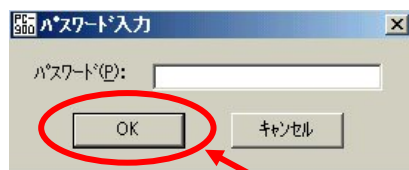


図 2.3.2-7

- ③ 機器名称登録画面が表示されます。
機器名を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。



図 2.3.2-8

(5) 設定操作

各種設定を行います。

① メニューバーの[設定(S)] - [設定操作(S)]を選択し、クリックしてください。(図 2.3-14)

② パスワード入力画面が表示されます。

「パスワード登録(→P.42)」で登録したパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。(図 2.3-15)

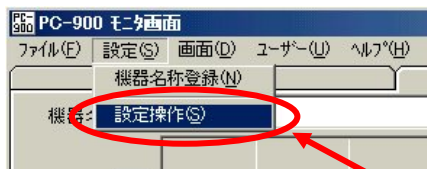


図 2.3.2-9

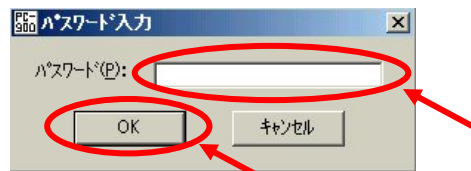


図 2.3.2-10

③ モニタ画面とは別に設定画面が表示されます。

モニタソフト起動時、設定値読取を「許可」した場合読取り値を、設定値読取を「禁止」した場合初期値を表示します。

画面の切り替え

タブをクリックすると画面を切り替えることができます。

パターン設定画面

1パターン分の全ステップデータ、パターン連結有り／無し、リピート回数を設定する画面です。設定したプログラムをグラフ表示します。

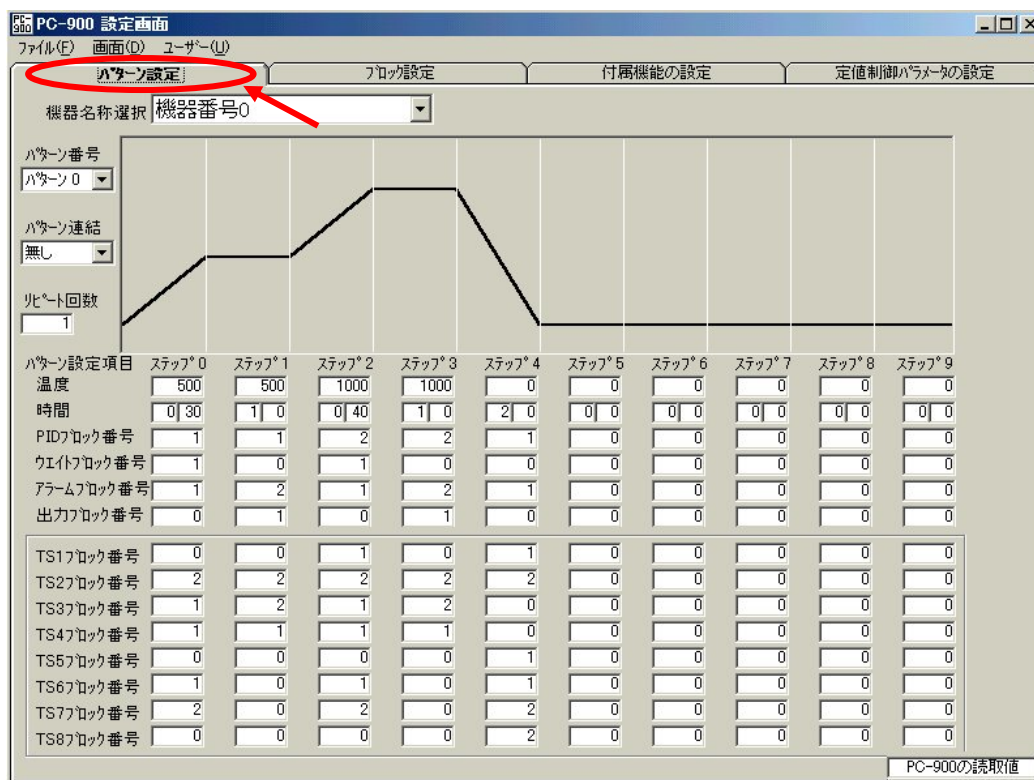


図 2.3.2-11

操作説明

機器名称選択、パターン番号、パターン連結は、項目の中から選択してください。

設定値の設定は、設定したい設定項目にカーソルを合わせダブルクリックすると、テンキーボードが表示されます。

設定値を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

PC-900 に設定値が転送されます。

ブロック設定画面

PID, 警報, 出力, ウェイト, タイムシグナルの各ブロック設定値を設定する画面です。

PC-900 設定画面

ファイル(F) 画面(D) ユーザー(U)

パターン設定 **ブロック設定** 付属機能の設定 定値制御パラメータの設定

PIDブロック設定値

	ブロック 0	ブロック 1	ブロック 2	ブロック 3	ブロック 4	ブロック 5	ブロック 6	ブロック 7	ブロック 8	ブロック 9
制御出力(OUT1)比例帯[%]	25	20	18	25	25	25	25	25	25	25
積分時間[秒]	200	180	80	200	200	200	200	200	200	200
微分時間[秒]	50	45	20	50	50	50	50	50	50	50
アンチセットウインドアップ[%]	50	40	60	50	50	50	50	50	50	50

警報ブロック設定値

	ブロック 0	ブロック 1	ブロック 2	ブロック 3	ブロック 4	ブロック 5	ブロック 6	ブロック 7	ブロック 8	ブロック 9
警報3(A3)動作点	0	10	5	0	0	0	0	0	0	0
警報4(A4)動作点	0	-10	-5	0	0	0	0	0	0	0

出力ブロック設定値

	ブロック 0	ブロック 1	ブロック 2	ブロック 3	ブロック 4	ブロック 5	ブロック 6	ブロック 7	ブロック 8	ブロック 9
制御出力(OUT1)上限[%]	100	100	80	100	100	100	100	100	100	100
制御出力(OUT1)下限[%]	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0
制御出力(OUT1)変化率リミット[%]	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0

ウェイトブロック設定値

	ブロック 0	ブロック 1	ブロック 2	ブロック 3	ブロック 4	ブロック 5	ブロック 6	ブロック 7	ブロック 8	ブロック 9
ウェイト設定値	0	10	5	0	0	0	0	0	0	0

タイムシグナルブロック設定値

	ブロック 0	ブロック 1	ブロック 2	ブロック 3	ブロック 4	ブロック 5	ブロック 6	ブロック 7	ブロック 8	ブロック 9	ブロック 10	ブロック 11	ブロック 12	ブロック 13	ブロック 14	ブロック 15
タイムシグナル出力OFF時間	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タイムシグナル出力ON時間	0	0	0	30	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タイムシグナル出力OFF時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タイムシグナル出力ON時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

PC-900の読取値

図2.3.2-12

操作説明

設定値の設定は、設定したい設定項目にカーソルを合わせダブルクリックすると、テンキーボードが表示されます。

設定値を入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

PC-900 に設定値が転送されます。

付属機能設定画面

警報，出力，伝送出力，入力パラメータおよびその他の機能を設定する画面です。

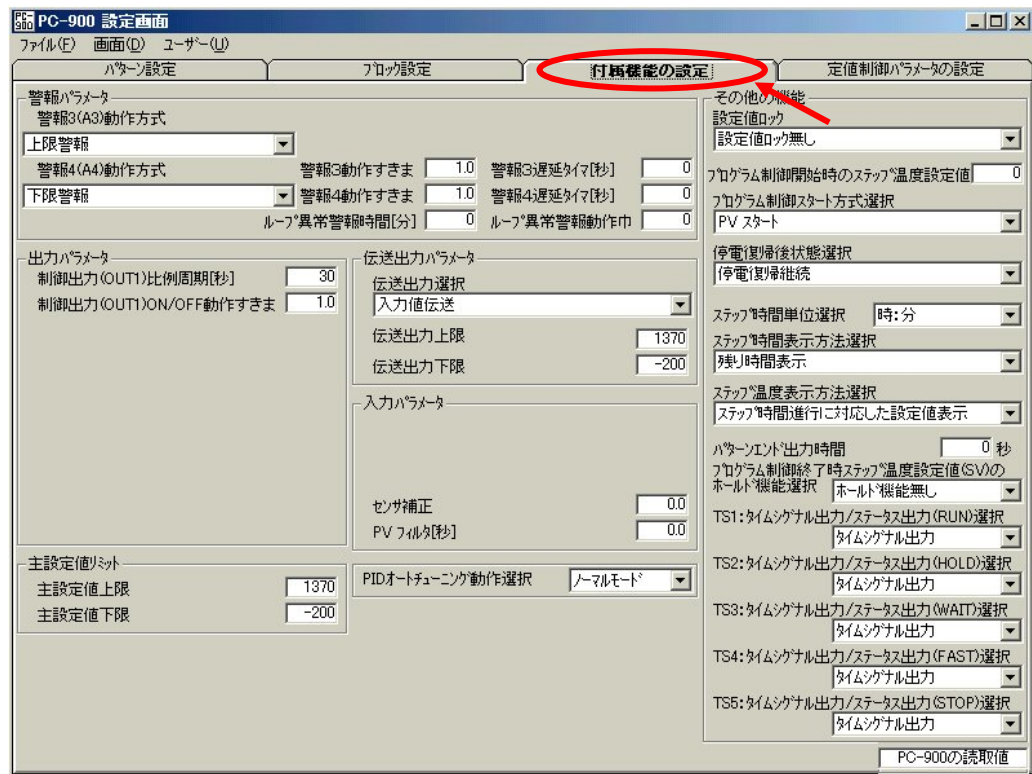


図2.3.2-13

操作説明

警報3, 4(A3, A4)動作方式選択，その他の機能選択などは，項目の中から選択してください。

設定値の設定は，設定したい設定項目にカーソルを合わせダブルクリックすると，テンキーボードが表示されます。

設定値を入力し，[OK]ボタンをクリックしてください。

PC-900 に設定値が転送されます。

定値制御パラメータ設定画面

定値制御時の主設定，PID，警報，出力パラメータを設定する画面です。

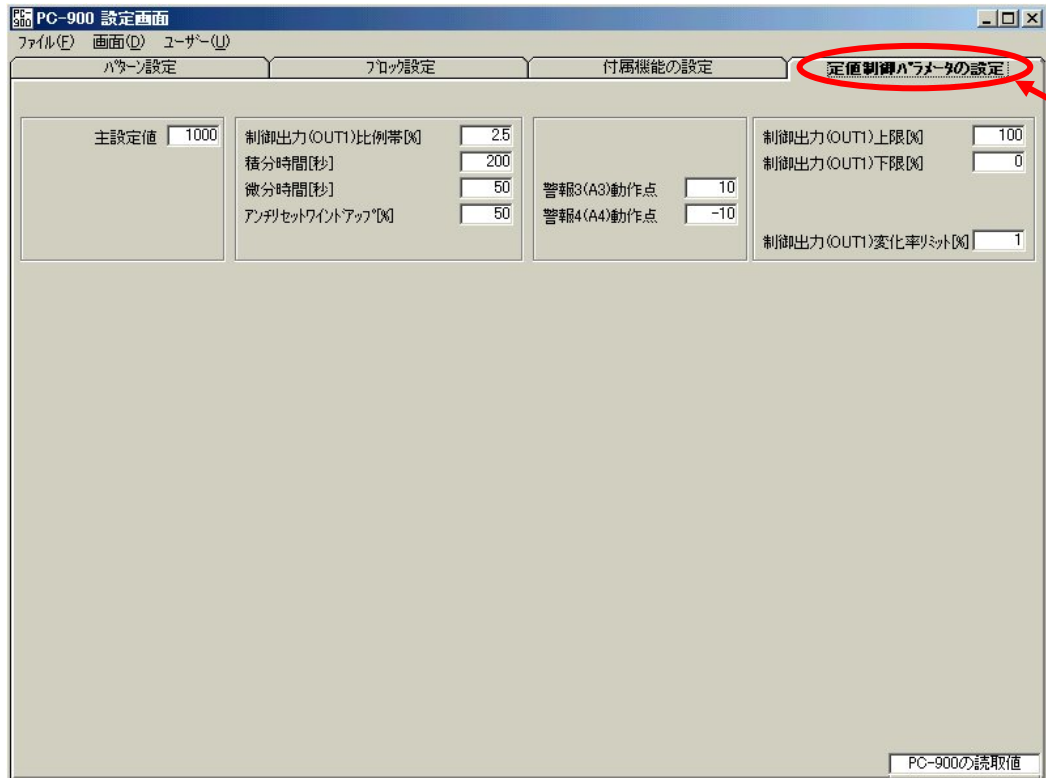


図2.3.2-14

操作説明

設定値の設定は，設定したい設定項目にカーソルを合わせダブルクリックすると，テンキーボードが表示されます。

設定値を入力し，[OK]ボタンをクリックしてください。

PC-900 に設定値が転送されます。

(6) 設定画面メニューバーの操作

機器間の設定値コピー

PC-900 間で設定値のコピーを行います。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [機器間の設定値コピー(J)]を選択し、クリックしてください。

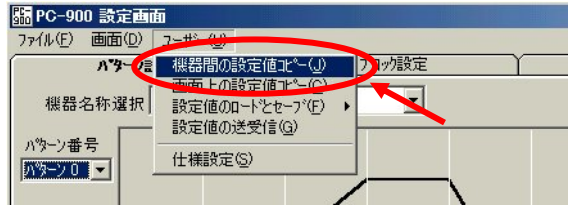


図 2.3.2-15

- ② 機器間の設定値コピー画面が表示されます。(図 2.3-21)
コピー元とコピー先の機器名称を選択し、[実行]ボタンをクリックすると、機器間のコピーを開始します。全設定値をコピーする為、数分かかります。

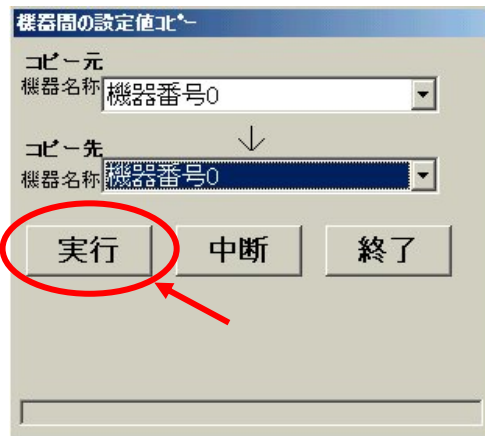


図 2.3.2-16

操作説明

- [実行]ボタン: このボタンをクリックすると、機器間のコピーを開始します。
- [中断]ボタン: このボタンをクリックすると、機器間のコピーを中断します。
- [終了]ボタン: このボタンをクリックすると、機器間のコピーを終了します。

画面上の設定値コピー

モニタソフト画面上で設定値のコピーを行います。

PC-900 へ設定値を送信する場合、「設定値の送受信(⇒P.37)」を実行してください。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [画面上の設定値コピー(C)]を選択し、クリックしてください。

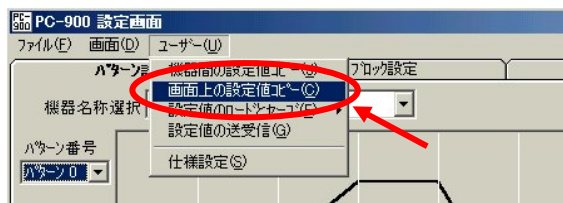


図 2.3.2-17

- ② モニタソフト画面上の設定値コピー画面が表示されます。
機器間、パターン間の設定値コピーを行うことができます。

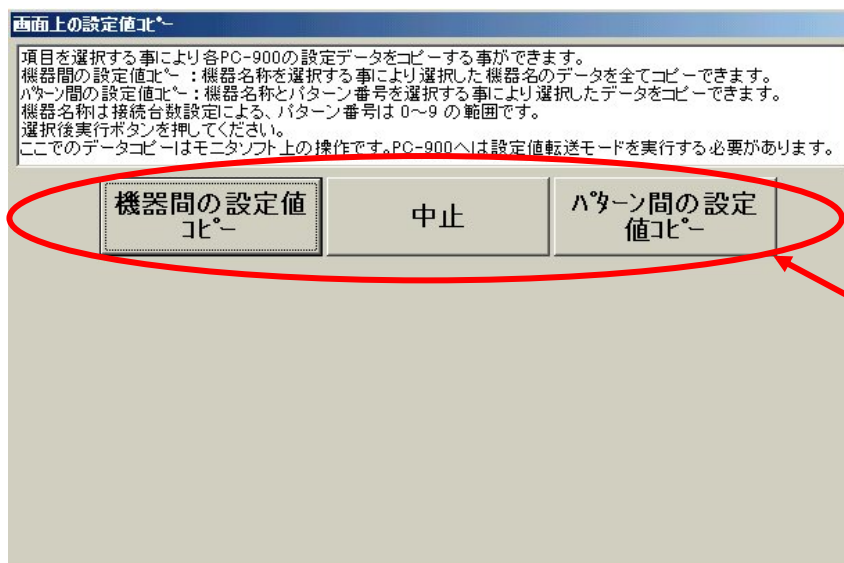


図 2.3.2-18

操作説明

[中止]ボタン: このボタンをクリックすると、画面上のコピーを終了します。

[機器間の設定値コピー]ボタン: このボタンをクリックすると、機器間の設定値コピー画面が表示されます。
コピー元、コピー先を選択し、[実行]ボタンをクリックすると、画面上でのコピーを開始します。

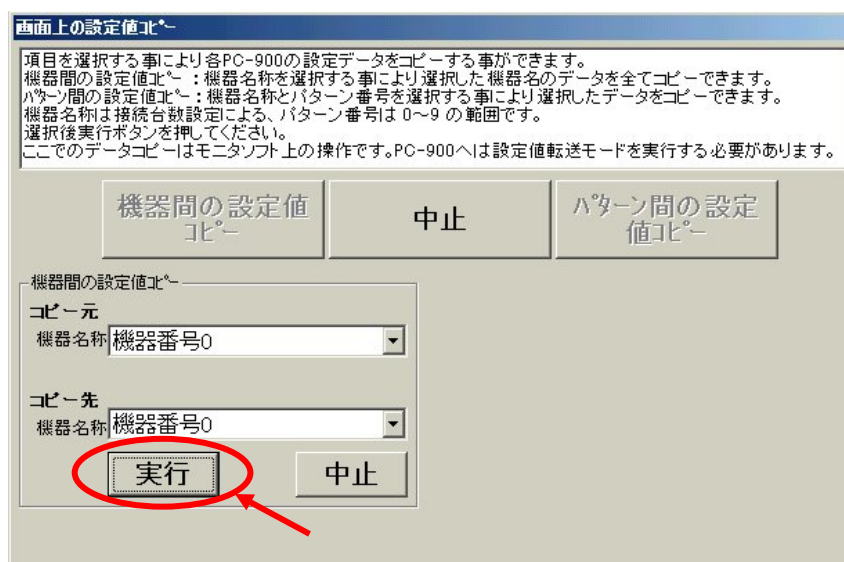


図 2.3.2-19

[パターン間の設定値コピー]ボタン: このボタンをクリックすると、パターン間の設定値コピー画面が表示されます。
コピー元、コピー先を選択し、[実行]ボタンをクリックすると、画面上でのコピーを開始します。

画面上の設定値コピー

項目を選択する事により各PC-900の設定データをコピーする事ができます。
機器間の設定値コピー: 機器名称を選択する事により選択した機器名のデータを全てコピーできます。
パターン間の設定値コピー: 機器名称とパターン番号を選択する事により選択したデータをコピーできます。
機器名称は接続台数設定による、パターン番号は0～9の範囲です。
選択後実行ボタンを押してください。
ここでのデータコピーはモニタソフト上の操作です。PC-900へは設定値転送モードを実行する必要があります。

機器間の設定値コピー 中止 パターン間の設定値コピー

パターン間の設定値コピー

コピー元
機器名称 機器番号0
パターン番号 パターン0

コピー先
機器名称 機器番号0
パターン番号 パターン0

実行 中止

図 2.3.2-20

設定値のロードとセーブ(1ユニット単位)

モニタソフト画面上的の設定値を1ユニット単位でファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読み込み)を行います。

PC-900 へ設定値を送信する場合、「設定値の送受信(→P.37)」を実行してください。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [設定値のロードとセーブ(E)] - [1 ユニット単位(A)]を選択し、クリックしてください。

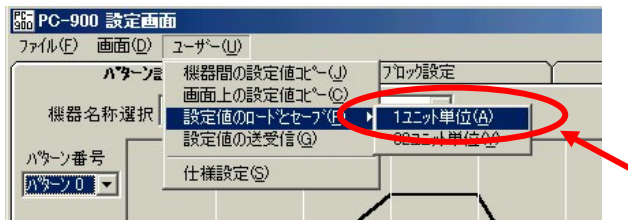


図 2.3.2-21

- ② Load/Save (1 ユニット)画面が表示されます。

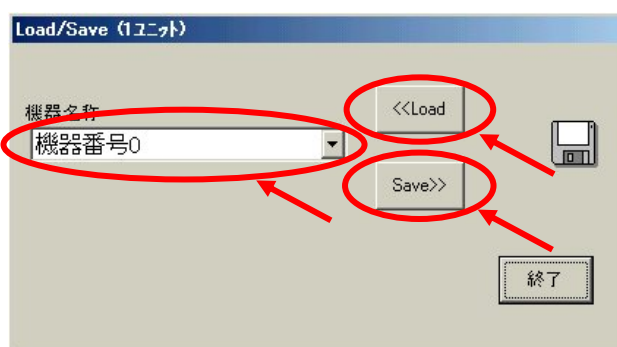


図 2.3.2-22

操作説明

機器名称選択項目: ロードまたはセーブする機器名称を選択してください。

[<<Load]ボタン: このボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示されます。ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックすると、選択したファイルに保存されている設定値データを選択した機器名称の画面上データにロードします。

[Save>>]ボタン: このボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示されます。ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックすると、選択した機器名称の画面上データを選択したファイルにセーブします。

[終了]ボタン: このボタンをクリックすると、設定値のロードとセーブを終了します。

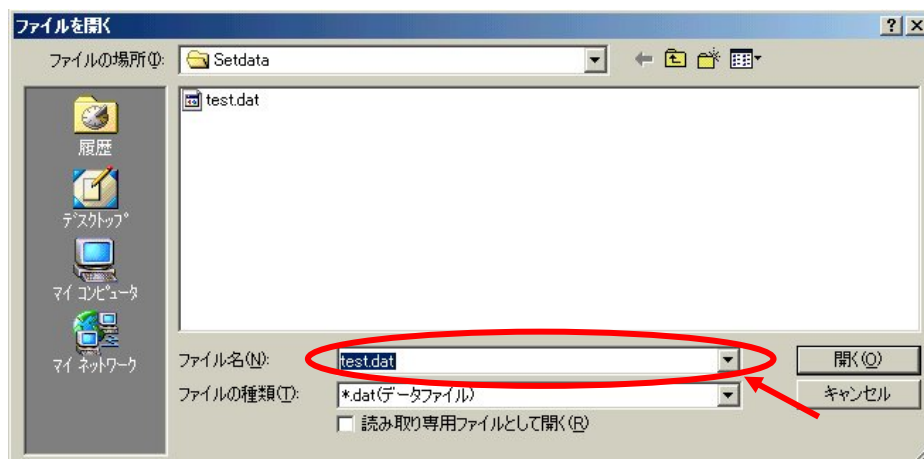


図2.3.2-23

設定値のロードとセーブ(32ユニット単位)

モニタソフト画面上的の設定値を 32 ユニット単位でファイルにセーブ(保存)またはファイルからロード(読み込み)を行います。

PC-900 へ設定値を送信する場合、「設定値の送受信(⇒P.37)」を実行してください。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [設定値のロードとセーブ(E)] - [32 ユニット単位(Y)]を選択し、クリックしてください。

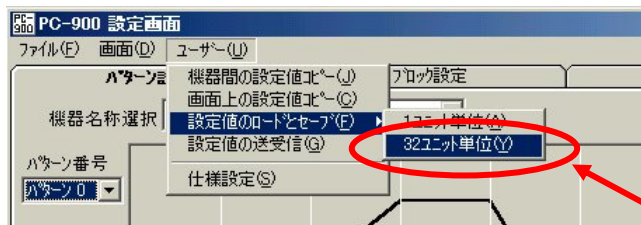


図 2.3.2-24

- ② Load/Save (32 ユニット)画面が表示されます。

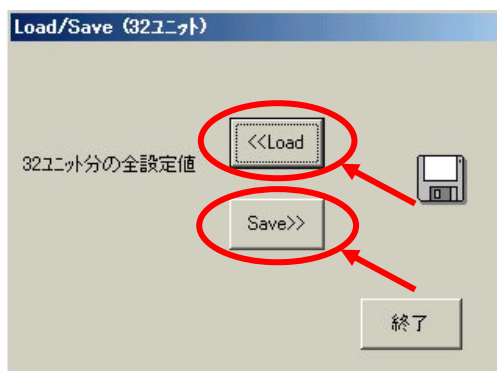


図 2.3.2-25

操作説明

- [<<Load]ボタン: このボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示されます。ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックすると、選択したファイルに保存されている32台分の設定値データを画面上データにロードします。
- [Save>>]ボタン: このボタンをクリックすると、ファイル選択画面が表示されます。ファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックすると、32台分の画面上データを選択したファイルにセーブします。
- [終了]ボタン: このボタンをクリックすると、設定値のロードとセーブを終了します。

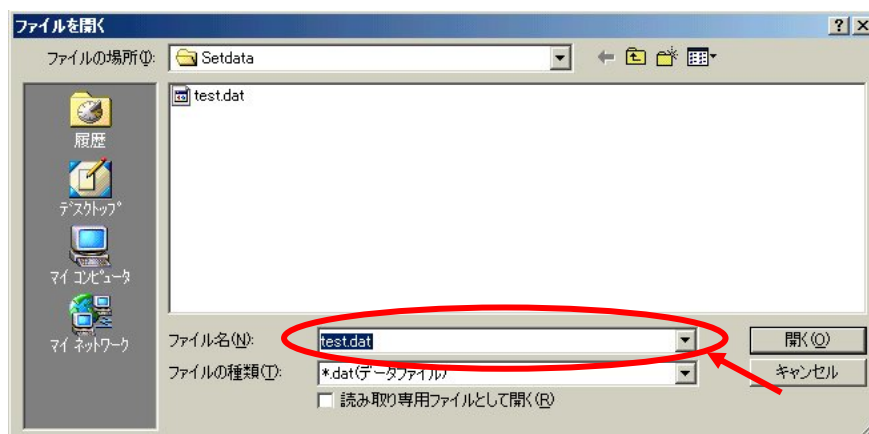


図2.3.2-26

設定値の送受信

モニタソフト画面上の全設定値を PC-900 に送信または PC-900 から画面上に受信します。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [設定値の送受信(G)]を選択し、クリックしてください。

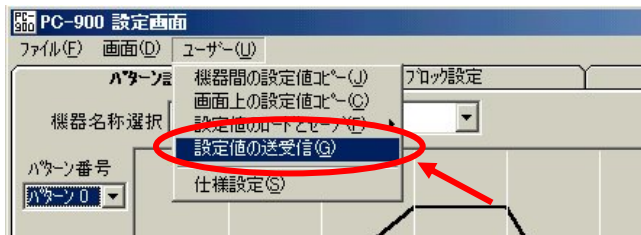


図 2.3.2-27

- ② 設定値の送受信画面が表示されます。

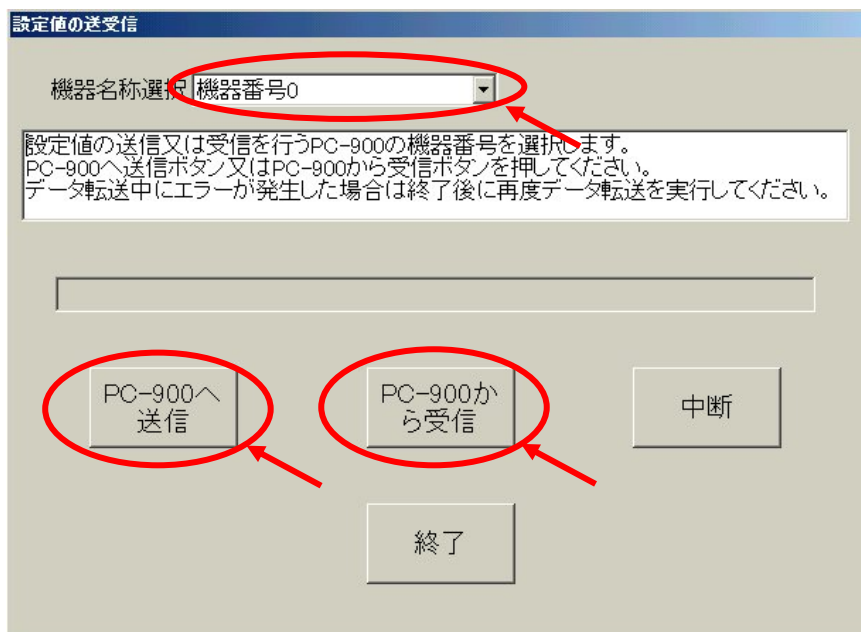


図 2.3.2-28

操作説明

機器名称選択項目: 設定値を送信または受信する機器名称を選択してください。

[PC-900へ送信]ボタン: このボタンをクリックすると、画面上的設定値を選択した機器名称のPC-900に送信します。

[PC-900から受信]ボタン: このボタンをクリックすると、選択した機器名称のPC-900の設定値を受信し画面上に読取ります。

[中断]ボタン: このボタンをクリックすると、設定値の送受信を中断します。

[終了]ボタン: このボタンをクリックすると、設定値の送受信を終了します。

仕様設定

接続している PC-900 の仕様に合わせ設定を行ないます。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [仕様設定(S)]を選択し、クリックしてください。

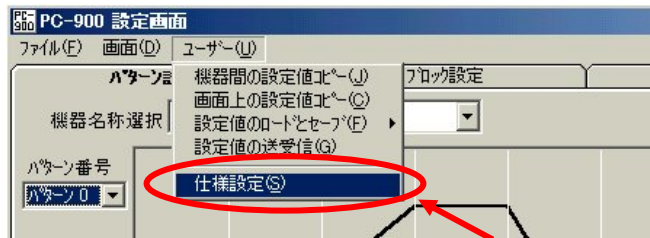


図 2.3.2-29

- ② 設定値の送受信画面が表示されます。

接続されているPC-900それぞれの入力レンジ、警報1, 2(A1, A2)動作方式、オプションの有無、形名(930, 950)を選択し[OK]ボタンをクリックしてください。
仕様設定を間違えると、頻繁に通信エラーが発生したり、設定範囲が異なったりする為注意してください。



図2.3.2-30

(7) データロギング

32 台分の PV 値をロギングし、ファイルに保存します。

保存したデータは Microsoft Excel など市販の表計算ソフトで編集が行えます。

ファイル名選択

ファイル名を選択しないとデータロギングを開始できません。

ファイル名選択は、2 通りの方法があります。

- ・ファイル選択: ファイル名を任意に指定できます。
- ・デフォルト: ファイル名は、データロギングを開始した日付と時間より以下のように自動的に作成します。

yymmdd_hhmm.csv yy: 西暦年数の下 2 桁(2003 年は 03 となります)
mm: 月数(1 月は 01 となります)
dd: 日数(1 日は 01 となります)
hh: 時数(午前 8 時は 08, 午後 8 時は 20 となります)
mm: 分数(1 分は 01 となります)

データロギング中にモニタソフトを終了した場合、次回起動時自動的にデータロギングを開始します。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [ロギング(L)] - [ファイル名(N)] - [ファイル選択(S)]を選択し、クリックしてください。

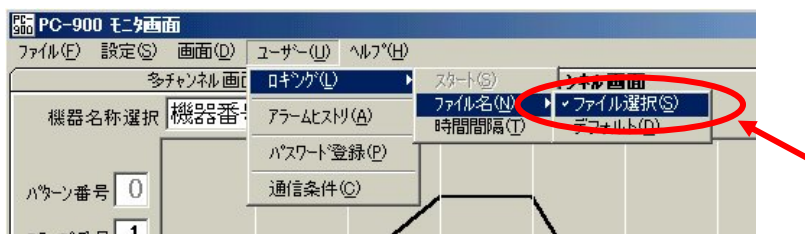


図 2.3.2-31

- ② ファイル選択画面が表示されます。
ファイル名を入力し、[保存(S)]ボタンをクリックしてください。

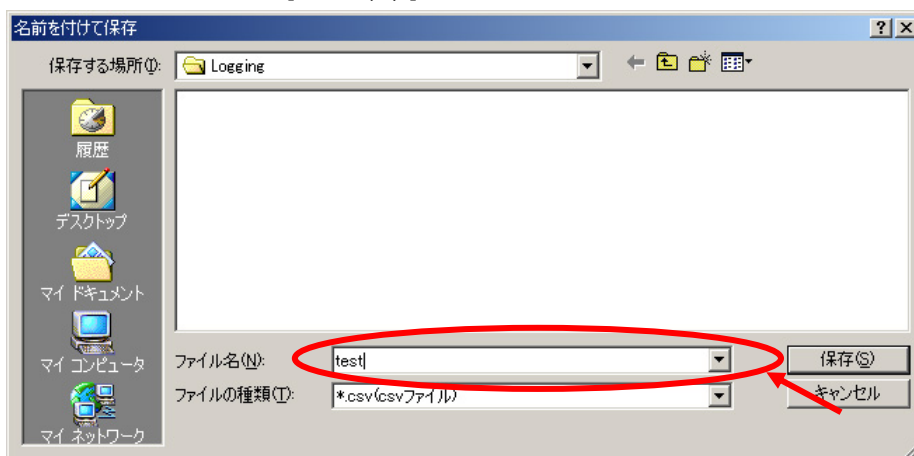


図 2.3.2-32

データロギング周期設定

データロギングの周期(時間間隔)を設定します。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [ロギング(L)] - [時間間隔(I)]を選択し、クリックしてください。

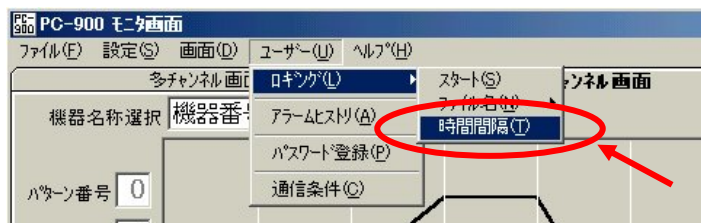


図 2.3.2-33

- ② ロギング時間間隔設定画面が表示されます。
設定範囲は 1～1800 秒です。ロギング時間を設定してください。



図 2.3.2-34

データロギング開始

データロギングを開始します。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [ロギング(L)] - [スタート(S)]を選択し、クリックしてください。

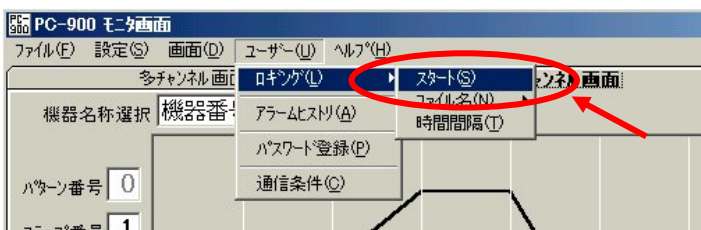


図 2.3.2-35

- ② データロギングを開始します。

データロギング終了

データロギングを終了します。

- ① データロギング中、メニューバーの[ユーザー(U)] - [ロギング(L)] - [スタート(S)]を選択し、クリックしてください。

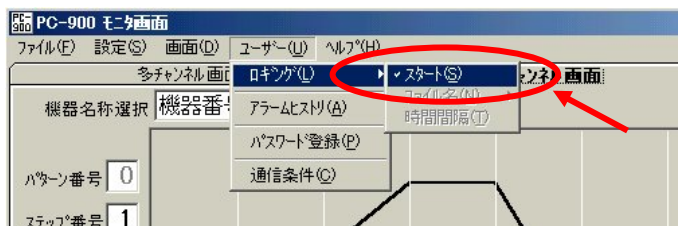


図 2.3.2-36

- ② データロギングを終了します。

(8) アラーム履歴画面

モニタ中の PC-900 の警報 1, 2, 3, 4(A1, A2, A3, A4), アップスケール, ダウンスケール, ループ異常警報, タイムシグナルが発生した時および正常に戻った時の機器名称と時間を表示すると同時にパソコン内の History フォルダに以下のファイル名で保存を行います。

ファイル名は、モニタソフトを起動した日付と時間より以下のように自動的に作成します。

His_yyyy_mm_dd_hh_mm.txt yyyy: 西暦年数
 mm: 月数(1 月は 1 となります)
 dd: 日数(1 日は 1 となります)
 hh: 時数(午前 8 時は 8, 午後 8 時は 20 となります)
 mm: 分(1 分は 1 となります)

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [アラーム履歴(A)]を選択し、クリックしてください。

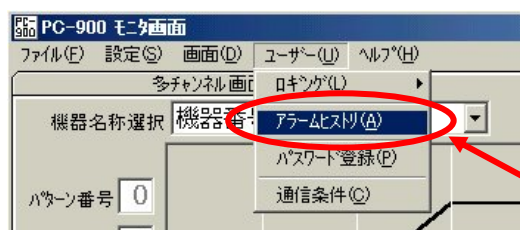


図 2.3.2-37

- ② アラーム履歴画面が表示されます。

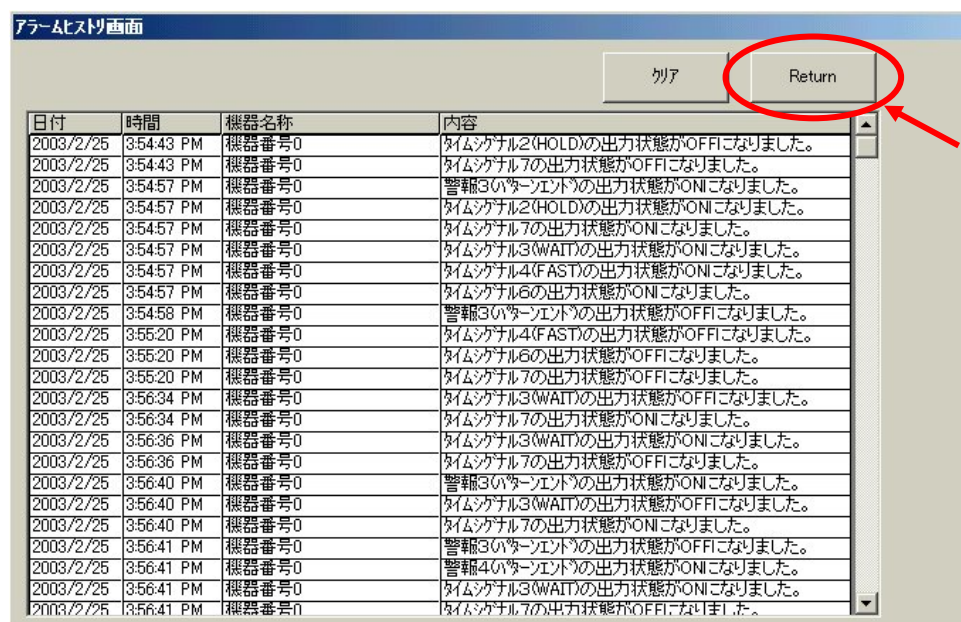


図 2.3.2-38

操作説明

- [クリア]ボタン: このボタンをクリックすると、画面上の履歴データを消去します。
 [Return]ボタン: このボタンをクリックすると、アラーム履歴画面を閉じます。

(9) パスワード登録

本モニタソフトは、管理者以外の方が勝手に設定値を変更できないよう、パスワードを登録できるようにしています。

パスワードにより制限されるのは以下の時です。

- ・機器名称登録時
- ・タイムシグナル名称登録時
- ・設定画面に移行する時

初期値は何も設定されていません。

そのまま[OK]ボタンをクリックすると、それぞれの画面に移行します。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [パスワード登録(P)]を選択し、クリックしてください。

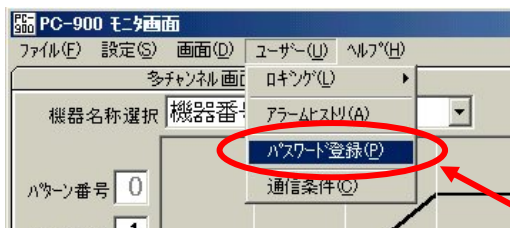


図 2.3.2-39

- ② パスワード登録画面が表示されます。

現在のパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

初期値は何も設定されていないので、そのまま[OK]ボタンをクリックしてください。

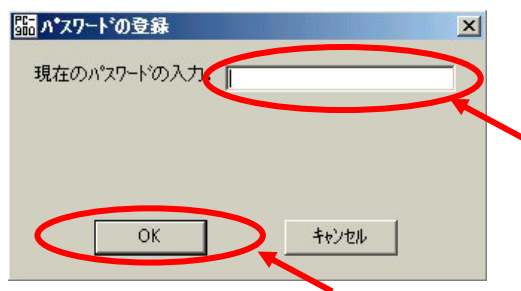


図 2.3.2-40

- ③ 新しいパスワード入力項目が表示されます。

新しいパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックしてください。

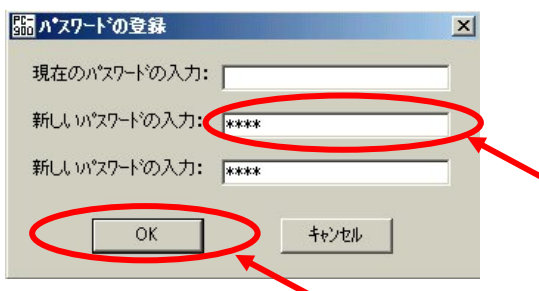


図 2.3.2-41

パスワードを変更すると、そのパスワードを入力しないとそれぞれの画面に移行できません。忘れないように注意してください。

もしパスワードを忘れてしまった場合、弊社営業所または出張所までご連絡ください。

(10) 通信条件設定

接続台数、通信ポート、通信速度、モニタソフト起動時 PC-900 の設定値読取りを許可／禁止を設定します。

- ① メニューバーの[ユーザー(U)] - [通信条件(C)]を選択し、クリックしてください。

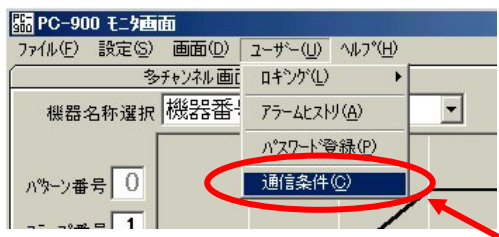


図 2.3.2-42

- ② 通信初期条件設定画面が表示されます。
通信初期条件を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。



図2.3.2-43

操作説明

接続台数: 接続するPC-900の台数を設定します。

通信ポート: パソコンの通信ポート番号を選択します。

通信速度: PC-900の通信速度に合わせて選択します。

起動時読取: 設定値読取を「許可」した場合、通信速度によるPC-900 1台あたりのデータ読込み時間は以下の通りです。

通信速度	19200bps: 約1分
	9600bps: 約1分30秒
	4800bps: 約2分30秒
	2400bps: 約4分

設定値読取を「禁止」した場合、通信速度に関係なく数秒でモニタソフトが起動します。

- ③ 通信初期条件を変更した場合、モニタソフトを再起動してください。
モニタソフトを再起動しないと、通信初期条件が有効になりません。
モニタソフトの終了。(➡P.24)
モニタソフトの起動。(➡P.17, 18)

(11) ヘルプ画面

モニタソフトの各画面や操作の説明を表示します。

- ① メニューバーの[ヘルプ(H)]-[ヘルプ(M)]を選択し、クリックしてください。

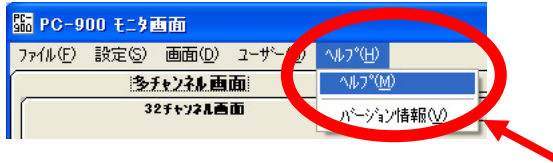


図2.3.2-44

- ② ヘルプ画面を表示します。

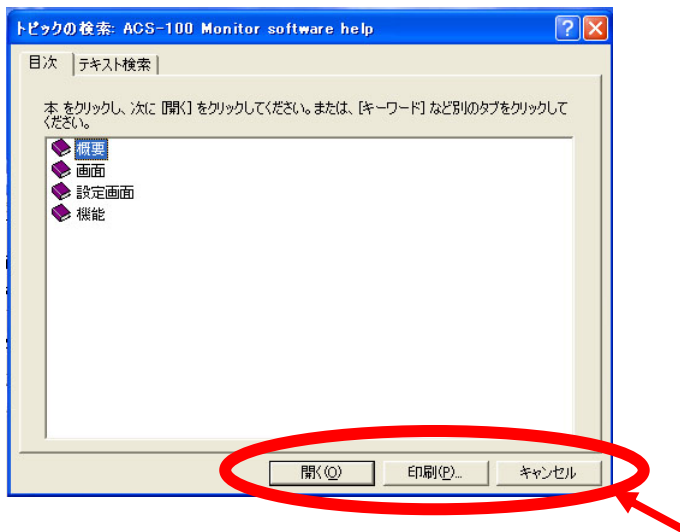


図 2.3.2-45

操作説明

- [開く(O)]ボタン : このボタンをクリックすると、選択したヘルプ内容を表示します。
閉じている本のアイコンを選択した場合、本を開きます。
開いている本を選択した場合、本を閉じます。
- [印刷(P)...]ボタン : このボタンをクリックすると、選択したヘルプ内容を印刷します。
本のアイコンを選択すると、その本に含まれる全てのヘルプ内容が印刷されます。
- [キャンセル]ボタン : このボタンをクリックすると、ヘルプ画面を閉じます。

(12) バージョン情報画面

モニタソフトのバージョン情報を表示します。

- ① メニューバーの[ヘルプ(H)]-[バージョン情報(V)]を選択し、クリックしてください。

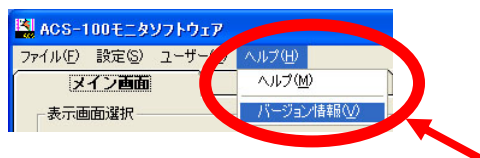


図2.3.2-46

- ② バージョン情報画面を表示します。

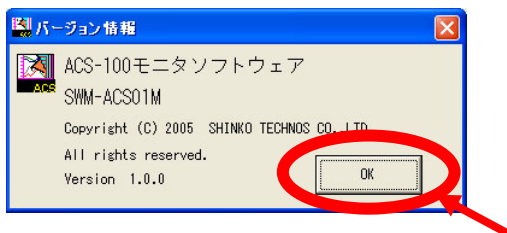


図 2.3.2-47

操作説明

[OK]ボタン : このボタンをクリックすると、バージョン情報画面を閉じます。

・・・お問い合わせは・・・

本モニタソフトについて不明な点がございましたら、お買い上げいただきました販売店、弊社営業所または出張所まで問い合わせください。

なお、動作上の不具合については、その内容とご使用状態の詳細を具体的にお知らせください。

Shinko 神港テクノス株式会社

本 社	〒562-0035 大阪府箕面市船場東 2 丁目 5 番 1 号 TEL: (072) 727-4571 FAX: (072) 727-2993 URL: http://www.shinko-technos.co.jp	東 北出張所TEL: (022) 395-4910/FAX: (022) 395-4914 神奈川出張所TEL: (045) 361-8270/FAX: (045) 361-8271
大阪営業所	〒562-0035 大阪府箕面市船場東 2 丁目 5 番 1 号 TEL: (072) 727-3991 FAX: (072) 727-2991 E-mail: sales@shinko-technos.co.jp	静 岡出張所TEL: (054) 282-4088/FAX: (054) 282-4089 北 陸出張所TEL: (076) 479-2410/FAX: (076) 479-2411
東京営業所	〒332-0006 埼玉県川口市末広 1 丁目 1 3 番 1 7 号 TEL: (048) 223-7121 FAX: (048) 223-7120	兵 庫出張所TEL: (078) 992-6411/FAX: (078) 992-6530 広 島出張所TEL: (082) 231-7060/FAX: (082) 234-4334
名古屋営業所	〒460-0013 名古屋市中区上前津 1 丁目 7 番 2 号 TEL: (052) 331-1106 FAX: (052) 331-1109	徳 島出張所TEL: (0883) 24-3570/FAX: (0883) 24-3217 福 岡出張所TEL: (0942) 77-0403/FAX: (0942) 77-3446